## 愛媛県がん診療連携推進病院 現況報告書(令和6年度版)

令和6年4月1日時点について記載

	·		,	i.
4 57人	(4) 批判化点	(0) 长中面虹[长中左日日, 亚弗约左11日1日]	(0) 1月2日47年	☆駄虫オス頂日太口で囲む
1. 区沉	(1)	(2) 招走史机(招走平月口: 十成23年11月1口)	(3) 現次報告	次数ヨッる項目で口で西し
	(		L	,

2. 病院概要					
(1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)	社会福祉法人 恩賜財団 済	生会西条病院			
(2)所在地等					
郵便番号	793-0027				
住所	愛媛県西条市朔日市269番地	也1			
電話番号(代表)	0897-55-5100				
FAX番号(代表)	0897-55-6766				
e-mail(代表)	saijo@saiseikaisaijo.jp				
HP7h LX	http://www.saiseikaisaijo.jp				
所属2次医療圏	新居浜・西条医療圏				
(3)開設		4.人士·20 平均周节	4.4. + M.E		
①開設者	社会福祉法人 恩賜財団 済	生芸文部 変媛県済	生会 文部長 岡田 武志		
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	昭和33年4月1日				
(4)アクセス情報	ロマ 無値 原マ 正々 町 ムこ ちち	i leten			
①鉄道	JR予讃線伊予西条駅からタク JR予讃線新居浜駅からタクシ				
@ *-	・せとうちバス 伊予西条駅発 グラ	ン経由新居浜駅行き ま	たは 西条出張所行き 西条済生	会病院前 バス停から	
②バス	徒歩1分・せどうちバス 新居浜今	治線 新居浜駅発 今治	営業所行き 西条済生会病院前	パス停から 徒歩1分	
③高速道路の最寄りインターチェンジ	松山自動車道 いよ西条IC :				
	松山自動車道 新居浜IC か	ら 車で30分			
④駐車場	207				台
(5)面積					
①土地	27901.76	m <sup>*</sup>			
②建物 (2) 表 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	28190.34	m <sup>2</sup>			
(6)診療時間	D 133	100+00/	D 033	470±00/A	
①外来診療受付時間	月曜~第1、第3土曜 8時00分		月曜~金曜 12時00分		
②外来診療時間	月曜~第1、第3土曜 8時005 毎週 日曜日、第2·4·5土曜日		月曜~金曜 12時00分		
③休診日 ④初診時の予約の要否	一部の診療科で必要		二曜日午後、祝日、お盆、地方 で必要・一部の診療科で必要・		
生物診時の予制の安日	一部の診療性で必要	(すべての診療や	(仍至,一即0)珍拟村(仍至,	个女/	
(7)診療科					
(アレッド) 開設診療科名(医療法施行令第3条の2(法第6条	の6第1項に相定する政会で定める	診療科タ))を以る	5に記載		
所政的旅行·日(区旅丛池门门第0个02(丛第0个			http://www.saiseikaisaijo.jp	1	
開設診療利一覧について ホームペ		ノリノーレハ	neeps/ www.outoomatoutjo.jp		
開設診療科一覧について、ホームペ 開設診療科数 診療科名(具体的に記載)	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ 外科				
開設診療科数	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	·科、脳神経外科、眼科			
開設診療科数 診療科名(具体的に記載)	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	·科、脳神経外科、眼科			
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等 (令和6年4月1日時点)	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	·科、脳神経外科、眼科			
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等 (令和6年4月1日時点) ①病床数	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科	4.女性内科、呼吸器	
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等(令和6年4月1日時点) ①病床数 総数	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科	· · · · · · · · · · · · · ·	
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等 (令和6年4月1日時点) ①病床数 総数 うち療養病床	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	·科、脳神経外科、眼科	理診斯科、血液内科、血管外科	京 京 京 末 末	
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等 (令和6年4月1日時点) ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152	京 京 京 末	
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等 (令和6年4月1日時点) ①病床数 総数 うち療養病床	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診斯科、血液内科、血管外科	京 京 京 末 末	
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等(令和6年4月1日時点) ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62	京 京 京 末	
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等(令和6年4月1日時点) ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床 ②診療機器の保有状況等	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1	床床床床	
開設診療科数 診療科名(具体的に記載) (8)病床数等(令和6年4月1日時点) ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床 ②診療機器の保有状況等 X線CT装置	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1	床床床	
開設診療科数  診療科名(具体的に記載)  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1	床 床 床 床	
開設診療科数  診療科名(具体的に記載)  (8)病床数等(令和6年4月1日時点)  ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  ②診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 MRI装置	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1	床 床 床 床 床	
開設診療科数  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 核医学検査装置	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1	床 床 床 床 床	
開設診療科数  診療科名(具体的に記載)  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち中別療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 MRI装置 核医学検査装置 うちPET(陽電子断層撮影)検査装置	外科、内科、循環器内科、整形ケ ペインクリニック外科、麻酔科、リ	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1 2 1	床 床 床 床 台 台 台 台 台	
開設診療科数  (8)病床数等(令和6年4月1日時点)  ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  ②診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 MRI装置 核医学検査装置 うちPET(陽電子断層撮影)検査装置 血管造影撮影装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1	床 床 床 床 床	
開設診療科数  診療科名(具体的に記載)  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  (②診療機器の保有状況等 X線CT装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 SJ紙1 1 1 1 2 1	床床床床	
開設診療科数  診療科名(具体的に記載)  (8)病床数等(令和6年4月1日時点)  ①病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  ②診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置  MRI装置 核医学検査装置 うちPET(陽電子断層撮影)検査装置 血管造影撮影装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1 2 1 1	床 床 床 床 由 台 台 台 台 台 台 台 台 台	
開設診療科数  診療科名(具体的に記載)  (8)病床数等 (令和6年4月1日時点)  ①病床数  総数  うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  ②診療機器の保有状況等  X線CT装置  方マルチスライスCT装置  MRI装置  核医学検査装置  うちPET(陽電子断層撮影)検査装置  血管造影撮影装置  放射線治療装置 (リニアック又はマイクロトロンバーチャルスライド装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1 2 1 1	床 床 床 床 由 台 台 台 台 台 台 台 台 台	
開設診療科数    診療科名(具体的に記載)   (8)病床数等 (令和6年4月1日時点)   ①病床数   総数   うち療養病床   うち一般病床   うち一般病床   うち特別療養環境室としている病床    ②診療機器の保有状況等   X線CT装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	<b>▶科、脳神経外科、眼</b> 科	152	床 床 床 床 由 台 台 台 台 台 台 台 台 台	
開設診療科数  診療科名(具体的に記載)  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1 1 0	床 床 床 体 台 台 台 台 台 台 台 台 台	
開設診療科数  (8)病床数等 (令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  (②診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 MRI装置 核医学検査装置 うちPET(陽電子断層撮影)検査装置 血管造影撮影装置 放射線治療装置 (リニアック又はマイクロトロンバーチャルスライド装置 (9)診療報酬に係る施設基準等 (1)施設基準を取得した病床数 一般病棟入院基本料(A100) 療養病棟入院基本料(A100)	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科  152 0 152 62  別紙1 1 1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床	
開設診療科数  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病族 うち一般病族 で、力を関する。 (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 が展別装置 を受検査装置 うちPET(陽電子断層撮影)検査装置 が財線治療装置 が財線治療装置 (リニアック又はマイクロトロンバーチャルスライド装置 (9)診療報酬に係る施設基準等 (1)施設基準を取得した病床数 一般病棟入院基本料(A100) 療養病棟入院基本料(A101) 特定機能病院入院基本料(A101)	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科  152 0 152 62  別紙1 1 1 1 1 0 1 2 1 1 0 1 0 1 1 0 0	床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床	
開設診療科数  (8)病床数等 (令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科  152 0 152 62  別紙1 1 1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床	
開設診療科数  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち一般病療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 MRI装置 核医学検査装置 うちPET(陽電子断層撮影)検査装置 血管造影撮影装置 放射線治療装置(リニアック又はマイクロトロンバーチャルスライド装置 (9)診療報酬に係る施設基準等 (1)施設基準を取得した病床数 一般病棟入院基本料(A100) 療養病棟入院基本料(A101) 特定機能病院入院基本料(A101)	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1 1 0 1 1 1 1 0	床 床 床 未	
開設診療科数	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科  152 0 152 62  別紙1 1 1 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 1 1 0 1 1 0 1 1 1 1 1 0 1		
開設診療科数  総の病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 らち療養病床 うち療養病床 うち特別療養環境室としている病床 (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置 方ちマルチスライスCT装置 MRI装置 核医学検査装置 方ちPET(陽電子断層撮影)検査装置 血管造影撮影装置 放射線治療装置(リニアック又はマイクロトロンパーチャルスライド装置 (9)診療報酬に係る施設基準等 (1)施設基準を取得した病床数 一般病棟入院基本料(A100) 療養病棟入院基本料(A100) 療養病棟入院基本料(A101) 特定機能病院入院基本料(A101) 特定機能病院入院基本料(A105) 教命教急入院料(A300) 特定集中治療室管理料(A301) ハイケアユニット入院医療管理料(A301) ハイケアユニット入院医療管理料(A301)	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1 1 0 1 1 1 0 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	床 床 床 体 体 体 体 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床	
開設診療科数  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち一般病床 うち一般病床 うち特別療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置 うちマルチスライスCT装置 MRI装置 核医学検査装置 うちPET(陽電子断層撮影)検査装置 血管造影撮影装置 放射線治療装置(リニアック又はマイクロトロンバーチャルスライド装置 (9)診療報酬に係る施設基準等 (1)施設基準を取得した病床数 一般病棟入院基本料(A101) 特定機能病院入院基本料(A101) 特定機能病院入院基本料(A101) 特定機能病院入院基本料(A105) 救命救急入院料(A300) 特定集中治療室管理料(A301) ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2) 小児入院医療管理料(A307) 回復期リハビリテーション入院料(A308)	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科  152 0 152 62  別紙1 1 1 1 1 0 1 2 1 1 0 0 124 0 0 0 0 0 0 0 24	中	
開設診療科数  (8)病床数等(令和6年4月1日時点) (1)病床数 総数 うち療養病床 うち物養病床 うち特別療養環境室としている病床  (2)診療機器の保有状況等 X線CT装置	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科 152 0 152 62 別紙1 1 1 1 1 0 1 1 1 0 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	床 床 床 体 体 体 体 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床 床	
開設診療科数	外科、内科、循環器内科、整形ケベインクリニック外科、麻酔科、リ 外科	·科、脳神経外科、眼科	理診断科、血液内科、血管外科  152 0 152 62  別紙1 1 1 1 1 0  124 0 0 0 0 0 0 0 4 0 0 24 0 0		

先進医療への対応状況(がんに関するもの)			別紙2	
へまれるU.c. 15.7 セニ. せ <i>体体</i> /    *   よ へ 5 pp -    た 4 pp -    へ 5				
診療報酬に係る施設基準等(件数は令和5年4月1日~令和6年3. DPC対象病院	月31日の集計)		はい	(はい/いいえ)
診療録管理体制加算(A207)	あり	(あり/なし)	2311	件
医師事務作業補助体制加算(A207-2)	あり	(あり/なし)	2420	件
緩和ケア診療加算(A226-2)	なし	(あり/なし)		件
がん診療連携拠点病院加算(A232)	なし	(あり/なし)		件
栄養サポートチーム加算(A233-2)	あり	(あり/なし)	1283	件
医療安全対策加算1(A234-1)	あり	(あり/なし)	2421	件
医療安全対策地域連携加算1	あり	(あり/なし)	2419	件
医療安全対策加算2(A234-1) 医療安全対策地域連携加算2	なし なし	(あり/なし) (あり/なし)		件件
患者サポート体制充実加算(A234-3)	あり	(あり/なし)	2421	件
特定集中治療室管理料(A301)	なし	(あり/なし)		件
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	あり	(あり/なし)	668	件
緩和ケア病棟入院料1(A310)(※今期に限り、代替として「緩和ケア	なし	(あり/なし)		件
緩和ケア病棟入院料2(A310)	なし	(あり/なし)		件
がん性疼痛緩和指導管理料1(B001 22)	あり	(あり/なし)	0	件
がん性疼痛緩和指導管理料2(B001 22)	なし	(あり/なし)		件
がん患者指導管理料 1 (B001 23) がん患者指導管理料 2 (B001 23)	あり あり	(あり/なし) (あり/なし)	0	件
がん患者指導管理料 3 (B001 23)	あり	(あり/なし)	22	件
外来緩和ケア管理料(B001 24)	なし	(あり/なし)	<del></del>	件
外来放射線照射診療料(B001-2-8)	なし	(あり/なし)		件
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	あり	(あり/なし)	3	件
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	なし	(あり/なし)		件
療養·就労両立支援指導料(B001-9)	なし	(あり/なし)	0	件
退院時共同指導料2(8005)	なし	(あり/なし)		件
退院時共同指導料2の医師同士の共同指導による加算 退院時共同指導料2の3者以上の共同指導による加算	なし なし	(あり/なし) (あり/なし)		件件
がん治療連携計画策定料1(B005-6)	なし	(あり/なし)		件
がん治療連携計画策定料2(B005-6)	あり	(あり/なし)	0	件
がん治療連携管理料(B005-6-3)	なし	(あり/なし)		件
薬剤管理指導料(B008)	あり	(あり/なし)	303	件
病棟薬剤業務実施加算	なし	(あり/なし)		件
麻薬管理指導加算(B008)	なし	(あり/なし)		件
医療機器安全管理料2(B011-4)	なし	(あり/なし)		件
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし	(あり/なし)	8331	件件
画像診断管理加算1(第4部 通則) 画像診断管理加算2(第4部 通則)	ありあり	(あり/なし) (あり/なし)	7633	件
遠隔画像診断による画像診断の施設基準(第4部 通則)	なし	(あり/なし)	7000	件
ポジトロン断層撮影(E101-2)	あり	(あり/なし)	96	件
コンピューター断層複合撮影の施設基準(E101-3)	あり	(あり/なし)	86	件
外来化学療法加算1(第6部 通則)	あり	(あり/なし)	87	件
外来化学療法加算1(A)15歳未満	あり	(あり/なし)	0	件
外来化学療法加算1(B)15歳未満	あり	(あり/なし)	0	件
外来化学療法加算2(第6部 通則)	なし なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算2(A)15歳未満 外来化学療法加算2(B)15歳未満	なし	(あり/なし) (あり/なし)		件件
無菌製剤処理料1(G020)	あり	(あり/なし)	617	件
がん患者リハビリテーション料(H007-2)	あり	(あり/なし)	1858	単位
輸血管理料I(K920-2)	あり	(あり/なし)	294	件
輸血管理料 II(K920-2)	なし	(あり/なし)		件
放射線治療管理料(M000)	あり	(あり/なし)	48	件
放射線治療専任加算(M000)	なし	(あり/なし)		件
外来放射線治療加算(M000)	なし	(あり/なし)		件 放射性同位元素内用療法管理科
放射性同位元素内用療法管理料1~5のいずれか(M000-	なし	(あり/なし)		件
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001) 強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M001)	なし なし	(あり/なし) (あり/なし)		件件
強度を調放射線治療(IMRT)の施設基準(M001) 画像誘導放射線治療加算の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
画家 助导成列級	なし	(あり/なし)		件
定位放射線治療の施設基準(M001-3)	なし	(あり/なし)		件
在宅療養支援病院の施設基準	なし	(あり/なし)		<u></u>
歯科医療機関連携加算(8009)	なし	(あり/なし)		件
周術期口腔機能管理後手術加算(K000)	あり	(あり/なし)	33	件

総職員数 (事務職員含む) 372 人・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

①職種別内訳 ※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。		動	常勤	
次後数の具件で有する有は、土たる未依に除る戦性に Jい Cのの 記載。	※(常勤換算		<b>吊</b> 到	
医師	2.34	,	25	J.
<u> </u>	0	,, ,	4	λ.
薬剤師	0.82	人	10	Д
保健師	0.3	人	3	Д
助産師	0	人	0	人
看護師	8.91	人	126	<u>ا</u>
准看護師	2.12	人	5	Д Д
理学療法士 作業療法士	0	<u> </u>	14 9	, ,
	0	人 人	2	Λ
言語聴覚士	0	人	3	Д
義肢装具士	0	人	0	人
歯科衛生士	0	人	5	Д
<u>歯科技工士</u>	0	<u>۲</u>	0	۸
診療放射線技師 臨床検査技師	0	人	12 17	Д Д
衛生検査技師	0	<u>,                                     </u>	0	Λ
臨床工学技士	0	人	5	۸.
管理栄養士	0	人	3	Д
栄養士	0	人	0	Д
社会福祉士	0	人	5	<u>ل</u>
精神保健福祉士 介護福祉士	0	人 人	0 3	Д Д
刀 咬T田仙工	U	^_	3	<u> ^</u>
※②~④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。	非常勤			
②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について	※(常勤換算	)	常勤	1.
公益社団法人 日本整形外科学会 整形外科専門医	0	٨	3	<u>۲</u>
公益社団法人 日本皮膚科学会 皮膚科専門医 公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0.177	人 人	0	Д Д
公益社団法人 日本麻酔科子会 麻酔科等门医	0.228	<u></u>	1	λ
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	0.076	人	0	λ
公益財団法人 日本眼科学会 眼科専門医	0	人	1	Д
公益社団法人 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	0	人	0	Д
一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	0	人	0	Д
一般社団法人 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	0.038	人	1	<u>ا</u>
一般社団法人 日本形成外科学会 形成外科専門医	0	人	0	<u>۸</u>
一般社団法人 日本病理学会 病理専門医 一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医	0.013	<u>^</u>	1	<u>ل</u>
一般社団法人 日本外科学会 外科専門医	0.057	人 人	4	Λ
一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0	人	3	Д
一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医	0	人	3	Д
一般社団法人 日本感染症学会 感染症専門医	0	人	0	Д
一般社団法人 日本救急医学会 救急科専門医	0	人	0	Д
一般社団法人 日本血液学会 血液専門医	0	人 ·	0	<u>ا</u>
一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 一般社団法人 日本循環器学会 循環器専門医	0.392	人	0 1	Д Д
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病専門医	0.392	<u>^</u>	6	۸ .
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医	0	<del>/</del>	0	, Д
公益社団法人 日本小児科学会 小児科専門医	0	人	0	Д
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	0	人	0	Д
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0.057	人	2	人
一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医	0	人 ·	0	<u>ل</u>
公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0.013	人	1	٨ .
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医 一般社団法人 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	0	人	1	Д Д
一般社団法人 日本脳神経が科子会 脳神経が科等门医 公益社団法人 日本リハヒ・リテーション医学会 リハヒ・リテーション科専門医	0	<u></u>	0	<u>^</u>
	0	<del>/</del>	0	λ
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	0	人	0	Д
呼吸器外科專門医合同委員会 呼吸器外科專門医	0	人	0	٨
一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0.177	人	4	۸.
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0	人	0	<u>ل</u>
一般社団法人 日本神経学会 神経内科専門医	0.178	人	0	λ ,
一般社団法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医 一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0	<u>Д</u>	0	^
一般社団法人 日本乳畑子云 乳腺等门医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	0	<u>^</u>	0	Λ
一般社団法人 日本東洋医学会 漢方専門医	0	<b>人</b>	0	۸ ۸
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0	人	0	۸.
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0	人	0	٨.
一般社団法人 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	0	人	0	<u>ل</u>
一般社団法人 日本核医学会 核医学専門医	0	人	0	<u>ل</u>
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	人	0	٨ .
一般社団法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	人	0	λ
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医 一般社団法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0	<u>^</u>	1	Λ
一般社団法人 日本熱傷学会 熱傷専門医	0	<u>^</u>	0	^ Д
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	0.076	人	0	٨.
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	人	0	J.
一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 周産期(新生児)専門医	0	人	0	۸.
一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医	0	人	0	人

一般社団法人 日本小児神経学会 小児神経専門医	0	人	0	<u>ل</u>
特定非営利活動法人 日本心療内科学会 心療内科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医	0	Т	0	人
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医	0	人	1	人
一般社団法人 がん治療認定医機構 がん治療認定医	0	人	2	λ
一般社団法人 がん治療認定医機構 暫定教育医	0	1	2	1
		Λ		^
公益社団法人 日本精神神経学会 精神科専門医	0		0	^
一般社団法人 日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	0	人	0	人
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 產科婦人科領域 技術認定所得者	0	人	0	人
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定所有者	0	人	0	Д
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定所得者	0	λ.	0	1
	0	_		
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定所得者		^_	0	^
一般社団法人 日本IVR学会 IVR専門医	0	人	0	۸
一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医	0	人	1	人
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (日 特定非営利活動法人 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会) 検診で2ゼグラス(統影認定医師A評価	0	J.	0	٨
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧 特定非営利活動法人 マンモグラフオ検診精度管理中央委員会) 検診でンセゲラス(誘診認定医師) 評価	0	٨	0	٨.
その他学会・専門医等(記載は10個まで 暫定指導医、暫定教育医等は記載しないこと	-)	3		<u>u</u>
				1
日本心血管インターベーション治療学会専門医	0	٨.	1	^
日本禁煙学会専門医	0	人	1	٨
日本東洋医学会専門医	0.4	人	0	۸
日本抗加齢医学会専門医	0	人	1	Α
		,		,
		i.		1
		^		^
		人		۸
		人		人
		人		۸.
		J.		λ
		^		~
歯科医師		7		
公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	0	人	3	人
一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医	0	人	0	۸.
				2
手进伍				
看護師		a .		
公益社団法人 日本看護協会 がん看護専門看護師	0	人	0	۸
公益社団法人 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	0	人	0	人
公益社団法人 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	Т	0	人
公益社団法人 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	人	0	Λ
公益社団法人 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	Α	0	Α
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0	٨	0	Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0 0	Д Д	0	Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0 0 0	Д Д Д	0 1 0	Д Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0 0	Д Д	0	Д Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師	0 0 0	Д Д Д	0 1 0	Д Д Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンショ	0 0 0 0	Д Д Д	0 1 0	
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスバーナース	0 0 0 0	Д Д Д	0 1 0	Д Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンショ	0 0 0 0 0	Д Д Д Д	0 1 0 0	
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持衛看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)	0 0 0 0 0	Д Д Д Д	0 1 0 0 0 0	
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者	0 0 0 0 0	Д Д Д Д	0 1 0 0	
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持衛看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)	0 0 0 0 0	Д Д Д Д	0 1 0 0 0 0	
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д	0 1 0 0 0 5	
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスバ(ートナース (旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0 1 0 0 0 0 5	۸ ۸
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 技食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース(旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 1 0 0 0 5 **勤 0 0	λ λ λ
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 投膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0 1 0 0 0 5 **動 0 0 0	۸ ۸
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 折介養認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 1 0 0 0 5 **勤 0 0 0	Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース(旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本網院薬剤師会 がん専門薬剤師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0 1 0 0 0 5 **動 0 0 0	λ λ λ
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 折ん放射線療法看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本線和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 1 0 0 0 5 **勤 0 0 0	Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース(旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本海が終東する	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 1 0 0 0 5 * 勤 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師 一般社団法人 日本網和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本網和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本郷和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本運剤師が修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 マンモグラフィ検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A	0 1 0 0 0 5 **勤 0 0 0 0	A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師 一般社団法人 日本網陀薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本網和医療学会 都本薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本線和医療学会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本線和医療学会 郷や薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本に無細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧 特定非営利活動法人 マ・モウ・ラフィ検診精度管理中央機構 (旧 特定非営利活動法人 マ・モウ・ラフィ検診精度管理中央委員会)検診マ・モウ・ラフィ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧 公益社団法人 日本医学放射線学会 医学物理士)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 1 0 0 0 5 **動 0 0 0 0 0 1	A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 投食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持衛者護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日おバア等会)定バス看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本線が高素剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本郷和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 アンモグラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンモグラフィ機影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 日本医学放射線学会 医学物理士) 放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 1 0 0 0 5 * 動 0 0 0 0 0 0 0 1	Д Д Д Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 技食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本INP学会認定)(R 日本下の中間的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海が修生ンター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 マモグラフィ検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 フモグラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンチプラフィ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理世 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療品質管理世	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持衛者護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロシー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海院・製師の会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海院・製師の会 がん専門薬剤師 の益社団法人 日本海院・製師の会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本海院・製師の会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本海院・製師・会 一般・表記定薬剤師 の益社団法人 日本と一般・記念主義のは、日本・会に、会に、日本・会に、会に、日本・会に、日本・会に、会に、日本・会に、会に、日本・会に、日本・会に、会に、日本・会に、日本・会に、日本・会に、日本・会に、日本・会に、会に、日本・会に、日本・会に、会に、会に、会に、会に、会に、会に、会に、会に、会に、会に、会に、会に、会	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 1 0 0 0 5 * 動 0 0 0 0 0 0 0 1	Д Д Д Д Д Д
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持衛看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロシー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本ババ甲学会認定ババイ青港師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 ・般社団法人 日本海が後を変き 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本海がん検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 フモグラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンモグラフィ機影診療放射線技師 ・般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理世 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療品質管理世	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線索法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンショナルスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本経和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本海肺研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 フェナジラン保険診精度管理中央委員会)検診マンモグ・ラフィ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 「旧公益社団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 「加公社社団法人 医学物理・関係 医学物理士 日本放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理土 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 折ん放射線索法看護認定看護師 の公益社団法人 日本看護協会 がん放射線索法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 の会社団法人 日本線形薬剤師会 がしま物療法認定薬剤師 の会社団法人 日本線が後等会 緩和薬物療法認定薬剤師 の会社団法人 日本線が後が大きた。 (旧特定非営利活動法人 フェナヴラン(検診精度管理中央委員会)検診マンチグラフ/撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 医学物理士認定機構 医学物理士) 放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線索法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンショナルスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本経和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本海肺研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 フェナジラン保険診精度管理中央委員会)検診マンモグ・ラフィ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 「旧公益社団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 「加公社社団法人 医学物理・関係 医学物理士 日本放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理土 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \lambda \) \(	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線索法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンショナルスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本経和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本海肺研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 フェナジラン保険診精度管理中央委員会)検診マンモグ・ラフィ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 「旧公益社団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 「加公社社団法人 医学物理・関係 医学物理士 日本放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理土 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本底療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本織院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本織院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 (旧特定非営利活動法人 スシモグランイ検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 スシモグランイ検診精度管理中央委員会)検診フェグランイ機影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 医学物理と認定機構 医学物理上) 放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士 その他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \lambda \) \(	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 折ん放射線索法看護認定看護師 の公益社団法人 日本看護協会 がん放射線索法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定VR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 の会社団法人 日本線形薬剤師会 がしま物療法認定薬剤師 の会社団法人 日本線が後等会 緩和薬物療法認定薬剤師 の会社団法人 日本線が後が大きた。 (旧特定非営利活動法人 フェナヴラン(検診精度管理中央委員会)検診マンチグラフ/撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 医学物理士認定機構 医学物理士) 放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \lambda \) \(	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本底療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本織院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本織院薬剤師会 がん専門薬剤師 公益社団法人 日本海院薬剤師会 がん専門薬剤師 (旧特定非営利活動法人 スシモグランイ検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 スシモグランイ検診精度管理中央委員会)検診フェグランイ機影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 医学物理と認定機構 医学物理上) 放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士 その他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \lambda \) \(	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本線和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本線和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞接査士 特定非営利活動法人 アンイラフィ検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 アンイラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 日本医学放射線学会 医学物理士) 放射線治療専門放射線治療・医療研修推進財団 診療情報管理士 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士 その他  ④その他の従事者 医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 1 0 0 0 0 5 5 **勤 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションニャスパーナース。(旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本郷和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本郷和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 フモグラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンモグラフィ撮影診療放射線投師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 日本医学放射線学会 医学物理士) 放射線治療専門放射線技師認定機構 医学物理士 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士 その他  ④その他の従事者 医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外) 診療録管理部門の職員	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \lambda \) \(	0 1 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本INFを参配定)NF看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本底療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本無に薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 フンモグラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンモグラフィ機影診療放射線技師 一般財団法人 医学放射線対験 一般財団法人 医学放射線対験 一般財団法人 医学放射線対験を 医学物理士 (旧公益社団法人 日本医学放射線対験 医学物理士) 放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士 その他  ④その他の従事者 医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外) 診療録管理部門の職員 医療心理に携わる者	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 1 0 0 0 5 5 *常勤 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本IVR学会認定IVR看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本疾療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本線形薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 マナヴ・ラフィ検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 マン・ビ・ラフィ検診精度管理中央委員会)検診マン・ビ・フィノ撮影診療放射線技師 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧公益社団法人 医学物理法と機構 医学物理士) 放射線治療専門放射線方師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士 その他  ④その他の従事者 医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外) 診療録管理部門の職員 医療・理に携わる者 公益社団法人 日本臨床・中工資格認定協会 臨床・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \lambda \) \(	0 1 0 0 0 0 5 5 **動 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 持食・嚥下障害看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師 公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師 日本インターペンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターペンション治療学会合同認定インターペンションエキスパートナース (旧日本INFを参配定)NF看護師)  ③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 一般社団法人 日本底療薬学会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本無に薬剤師会 がん専門薬剤師 一般社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧特定非営利活動法人 フンモグラフィ検診精度管理中央委員会)検診マンモグラフィ機影診療放射線技師 一般財団法人 医学放射線対験 一般財団法人 医学放射線対験 一般財団法人 医学放射線対験を 医学物理士 (旧公益社団法人 日本医学放射線対験 医学物理士) 放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士 その他  ④その他の従事者 医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外) 診療録管理部門の職員 医療心理に携わる者	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \lambda \) \(	0 1 0 0 0 5 5 *常勤 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A

データマネー		TT				
ジャー	(医学研究、特に臨床研究において、 データの品質管理を担うデータマネー 生物統計学の基礎知識、データベー) 要する。)	-ジメントの専門家。医学知識、	0	J.	0	٨
生物統計家	(統計学を専門とする統計家のうち、「 の生命科学に特化した知識・経験を の研究デザインやデータの統計解析	する統計家。生命科学研究	0	J.	0	Д
医師事務作業補		<b>を担当する。</b> )	1.50	J	0	۸.
西部事務TF未開 看護業務補助者	<b></b> 切自		1.56 4.26	Λ	9	λ
有設未彷彿切石			4.20	^	11	^
(11)その他 (令和64	年4月1日現在)					
①承認等の状況						-
地域医療支援病	院				承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院 ②夜間(深夜も含む	) 数負対内の可不				承認あり	(承認あり、承認なし) (可、否)
③各種委員会の設施						(1, 1)
倫理審査委員会		あり	(あり、なし)	年	6	回開催(令和5年1月~令和5年12月)
治験審査委員会		あり	(あり、なし)	年	6	回開催(令和5年1月~令和5年12月)
④診療情報管理の						
<ul><li>病院情報システム 検査オーダ</li></ul>	の移働状況				±11	(あり、なし)
					あり あり	(あり、なし)
診療予約オーダ					あり	(あり、なし)
電子カルテ					あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状	況					_
	名管理に利用している				はい	(はい、いいえ)
ICD-10を外来病 ⑤遠隔医療システム	名管理に利用している				はい	(はい、いいえ)
り返隔医療システム 遠隔画像診断	4守の得入状況				あり	(あり、なし)
遠隔病理診断					なし	(あり、なし)
在宅療養支援					なし	(あり、なし)
	けるインターネット環境				あり	(あり、なし)
病棟におけるイン	/ターネット環境				あり	(あり、なし)
					•	
(12)患者数・診療件数	の状況					
① 患者数等	-> 50,00					
年間新入院	忠患者数(令和5年1月1日~令和5年1	2月31日)※1			2832	٨.
	、院がん患者数(令和5年1月1日~令和	和5年12月31日)※2			489	人
	、院患者数に占めるがん患者の割合				17.3%	
	『ん患者のべ数(令和5年1月1日~令₹ 『こだがん患者数(令和5年1月1日~令₹				30718 45	Д Д
新入院患者	数(原則、予和5年  月 日~予和6年	2月29日までの新人院患者。)	:X1		985	
	<mark>5数(原則、令和5年11月1日~令和6年</mark> ぶん患者数 ※2	2月29日までの新人院患者。)	<u> </u>		985 183	Д
新入院か (新	『ん患者数 ※2 『入院患者数に占めるがん患者の割合》	)	<u> </u>		183 18.6%	
新入院か (新 うち肺	「人患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」 がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:	2.2)%	<u>%1</u>		183 18.6% 8	Д Д
新入院か (新 うち肺 うち胃	「ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」 がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0! がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D0!	2.2)%		2)	183 18.6% 8 15	Д Д Д
新入院か (第 うち肺 うち胃 うち大	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合) がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0) がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D0 陽がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-10	0.2))※ 0.2) D⊐—ド C18\$、C19、C20、D01.0、		.2)	183 18.6% 8	Д Д Д
新入院か (第 うち うち胃 うち大 うち うち うち	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」 がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D03 がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D06 腸がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-16 臓がん患者数 (ICD-10コード C22\$、I がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D03	0.2)) 0.2) □□──ド C18\$, C19, C20, D01.0, 001.5)	, D01.1, D01	.2)	183 18.6% 8 15 58	Д Д Д
新入院: (第) (第) (第) (第) (第) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	「人患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D0:職がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0:患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合数は、がんを主たる病名に確定診来がん患者延数は、当年の新来、再来方が急者が空つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35	Д Д Д Д
新入院院 (第 ) (	《ん患者数 ※2 f入院患者数に占めるがん患者の割合。 がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D0: がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 臓がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中 の日のうちに退院あるいは死亡した場 者数等は、がんを主たる病名に確定診 来がん患者変数は、当年の新来、再来 かっと行い、診療録の作成又は記載の 者が2つ以上の診療科を受診し、それぞ 大場合、それぞれの外来患者として計 該項目の下位分類を全て含むという意! の状況(令和5年11月1日~令和6年2)	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35	Д Д Д Д
新入院か (	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数(ICD-10コード C34\$、D0がん患者数(ICD-10コード C34\$、D0がん患者数(ICD-10コード C16\$、D0・ 腸がんに、は、	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35	Д Д Д Д
新入院か (第 うち時間 うちち間 うちか うち 所 うち 外 うち 外 ・ ※1 新入院 を ※2 年間間 る。加を 化 りが ので 4 「\$」は 等 全身麻酔の性数 ア 悪性腫瘍の イ 所がん(の)	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C54\$、D0: 協議がんを含む)患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合教的に表すとあ病名に確定診来がん患者延数は、当年の新来、再来方が心患者延数は、当年の新来、再来方が心患者延数は、当年の新来、再来方が心患者延数は、当年の新来、再来方が心患者延数は、当年の新来、再来方がとまるでは記載の表が2つ以上の診療科を受診し、それぞ、はいる。  「場合、それぞれの外来患者として計し該項目の下位分類を全て含むという意いの状況(令和5年11月1日~令和6年2)の総数  9手柄件数の総数  15、D02.2)の手術件数	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35 9	人 人 人 人 人
新入院か (	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数(ICD-10コード C34\$、D0)がん患者数(ICD-10コード C34\$、D0)がん患者数(ICD-10コード C16\$、D0) 関がんに関係がんを含む)患者数(ICD-10コード C50\$、D0)患者数は、(ICD-10コード C50\$、D0)患者数は、(ICD-10コード C50\$、D0)患者数は、(ICD-10コード C50\$、D0)患者数は、(ICD-10コード C50\$、D0)患者数は、がんを主たる病名に確定診決がん患者延数は、当年の新来、再来少つ等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計、該項目の下位分類を全て含むという意的の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の終数 の終数 4\$、D02.2)の手術件数 「K511\$、K514\$、K518\$ 「手術 K514-2\$	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35 9	人 人 人 人 人
新入院か (第 うち所) うち胃 うち下) うち別 うち別 ・※1 新がられる。 ※3 年間に る。加を付いま る。加を引いま る。追加を付ける。 2 麻酔 座 性腫瘍 イ 「 新 の イ が の の イ 肺がん(G3 開胸腔鏡丁 ウ 胃がん(C1)	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C54\$、D0: がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 最者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合教等は、がんを主たる病名に確定診来がん患者延数は、当年の新来、再来分が等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意での状況(令和5年11月1日~令和6年2)の総数 フェーターの経数 (1月1日) (1月1	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35 9  87 15 0 0	人 人 人 人 人 件 件
新入院院 (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (55 円 (55	《ん患者数 ※2  「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D0: 臓がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場者数等は、がんを主たる病名に確定診決来がん患者運数は、当年の新来、再来少今等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞも場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意!の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の終数  「大511\$、K514\$、K518\$  「K511\$、K514\$、K518\$  「K5114-2\$  68、D02.2)の手術件数 「K654-2、K6552、K655-42、K6572	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35 9	人 人 人 人 人 件 件
新入院か (第 が うち 所 うち 所 うち 所 うち 所 うち 所 うち 外 た 患 が か に 多 が 年 の に る ら か で り 一 に の に の で の に の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	《ん患者数 ※2 「入院患者数 に	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 001.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする。 断されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 がん患者の延数 たれの診療料で診療録の作成又	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 3 1	人 人 人 人 人 人 件 件 件 件
新入院か (	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの方に退院あるいは死亡した場合者数等は、がんを主たる病名に確定診果がん患者延数は、当年の新来、再来の多等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の総数 (ICD-10年数の総数 (ICD-10年数の総数 (ICD-10年数の総数 (ICD-10年数 (ICD-10年 (IC	2.2)※ 3.2) 303) 304) 307-ド C18\$、C19、C20、D01.0、 301.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする 6も計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 30追加を行ったがん患者の延数 とする。 味である。 月29日)	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 15 58 35 9  87 15 0 0 1	人 人 人 人 人 人 件 件 件
新入院院 (新)	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D0:勝がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0:患者数 (ICD-10コード C50\$、D0:患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場者数等は、がんを主たる病名に確定診決来がん患者運数は、当年の新来、再来少今等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞも場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意!の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の終数 「K511\$、K514\$、K518\$ 「手術性数の総数 「K511\$、K514\$、K518\$ 「下511\$、K514\$、K518\$	2.2)※ 3.2) 303) 304) 307-ド C18\$、C19、C20、D01.0、 301.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする 6も計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 30追加を行ったがん患者の延数 とする。 味である。 月29日)	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件
新入院。 (	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの表す。 (ICD-10コード C50\$、D0:ほんの方に退院あるいは死亡した場合者数等は、がんを主たる病名に確定診果がん患者延数は、当年の新来、再来の多等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の総数 (ICD-10年数の総数 (ICD-10年数の総数 (ICD-10年数の総数 (ICD-10年数 (ICD-10年 (IC	2.2)※ 3.2) 303) 304) 307-ド C18\$、C19、C20、D01.0、 301.5) 5\$) に2回入院した場合は2件とする 6も計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 30追加を行ったがん患者の延数 とする。 味である。 月29日)	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 3 1	人 人 人 人 人 人 件 件 件 件
新入院が、制施 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C54\$、D0: 機がんき者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場と来がん患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者で到以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意はの総数 (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年)	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	. 2)	183 18.6% 8 15.58 35 9  87 15 0 0 0 4	人 人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件 件 件
新入院院 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	《ん患者数 ※2  「入院患者数に占めるがん患者の割合」がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C16\$、D0:勝がん患者数 (ICD-10コード C50\$、D0:患者数 (ICD-10コード C50\$、D0:患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場者数等は、がんを主たる病名に確定診決来がん患者運数は、当年の新来、再来少今等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意!の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の終数  「K511\$、K514\$、K518\$ 「事務(大5142\$ 「新に第一次を表している。「下下で、1545年)の終数  「K511\$、K514\$、K518\$ 「下下、1545年)の終数 「K654-2、K655-2、K657-22年前、K54-2\$ 「新藤町除衛(EMR) K6531 「新藤町除衛(EMR) K6531 「新藤町除衛(EMR) K6531	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す		183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 4 2	人 人 人 人 人 人 件 件件 件件 件件
新入院か (第 ) (第 ) (第 ) (第 ) (5 ) (5 ) (5 ) (6 ) (7 ) (8 ) (8 ) (9 ) (9 ) (9 ) (9 ) (9 ) (9 ) (9 ) (9	《心患者数 ※2 「入院患者数に占めるが心患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 原語者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 原語者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合数は、必要を有効で以及は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意図が、(令和5年11月1日~令和6年2)の総数 (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年)	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 4 2 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件
新入院院 (金)	《心患者数 ※2 「入院患者数に占めるが心患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C56\$、D0: 膿が心患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合数は、が心を主たる病名に確定診来が心患者変数は、当年の新来、再来少今等を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意度の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の総数 (1511\$、K514\$、K518\$ (1514\$、K514\$、K518\$ (1514\$、K514\$、K518\$ (1515\$、K514\$、K516\$ (1557-22 (165	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 4 4 2 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件
新入院。 (家師) (家師) (家師) (家師) (家師) (家師) (家師) (家師)	《心患者数 ※2 「入院患者数に占めるが心患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 原語者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 原語者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合数は、必要を有効で以及は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意図が、(令和5年11月1日~令和6年2)の総数 (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年)	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 4 2 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件
新入院か ( 家師) うちか胃 うちか胃 うちか胃 うちか胃 うちか胃 うちか胃 ・ ※2 うちり ・ ※3 、同をり ・ ※4 を見い ・ ※5 を見い ・ ※6 を見い ・ ※6 を見い ・ ※6 を見い ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	《心患者数 ※2 「入院患者数に占めるが心患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 農者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場と来が心患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者で可以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意はの総数 (1514)、終病数数 (1514)、	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 0 4 4 2 0 0 0 0 0 3 3 1 3 1 3 3 1 4 2 3 6 6 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	人 人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件
新入院。 (	《ん患者数 ※2 「入院患者数に占めるがん患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:がん患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件
新入院。 (家師) うちに うちた 肝 うちた 肝 うちた 肝 うちた 所 引 所 ・ ※3 1 和 子	《心患者数 ※2 「入院患者数に占めるが心患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0:が心患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 農者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場と来が心患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者延数は、当年の新来、再来分が患者で可以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意はの総数 (1514)、終病数数 (1514)、	2.2)※  2.2)※  3.2)  3.2)  3.3  3.3  3.4  3.5  3.5  3.5  3.5  3.5	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 0 4 4 2 0 0 0 0 0 3 3 1 3 1 3 3 1 4 2 3 6 6 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	人 人 人 人 人 人 人 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件
新入院か (第 ) (	《心患者数 ※2 「入院患者数に占めるが心患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 臓者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合者数等は、が心を主たる病名に確定診果が心患者延数は、当年の新来、再来分の害を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞた場合、それぞれの外来患者として計該項目の下位分類を全て含むという意図の状況(令和5年11月1日~令和6年2)の総数 (ICD-10コード C50\$ (IS\$、D02.2)の手術件数の総数 (IS\$ (IS\$ (IS\$ (IS\$ (IS\$ (IS\$ (IS\$ (IS\$	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 D01.5) 5\$) (こ2回入院した場合は2件とする 計されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 対追加を行ったがん患者の延数 上する。。 はである。 同29日) の手術件数	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 ( 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件
新入院。 (第 計) (	《心患者数 ※2 「入院患者数に占めるが心患者の割合」が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C34\$、D0: が心患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 職者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数 (ICD-10コード C50\$、D0: 患者数は、例えば、同一患者が当月中の日のうちに退院あるいは死亡した場合 表数等は、が心を主たる病名に確定診束が心患者延数は、当年の新来、再来分が患者で可以は記載の手を行い、診療録の作成又は記載の者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの外来患者として計上該項目の下位分類を全て含むという意的状況 (令和5年11月1日~令和6年2)の総数 (1518、K514\$、K518\$ 年末 K514\$、K518\$ 年末 K514\$、K514\$、K518\$ 年末 K514\$、K518\$ 年末 K5142\$ (1855-22 (K6572 1856) (1854-2) (1855-22 (K6572 1856) (19	2.2)※ 0.2) 0コード C18\$、C19、C20、D01.0、 D01.5) 5\$) (こ2回入院した場合は2件とする 計されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 対追加を行ったがん患者の延数 上する。。 はである。 同29日) の手術件数	, D01.1、D01 る。入院し らこと。 、健康診 を記入す	.2)	183 18.6% 8 8 15 58 35 9  87 15  0 0 0  4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人 人 人 人 人 人 人 人 人 ( 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件

ク 転移性肝がん(C787)の手術件数			
開腹手術 K695\$		0	件
腹腔鏡下手術 K695-2		0	件
③ 放射線治療			
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記り	しすること。		
ア-1 のべ患者数 (令和5年1月1日~令和5年12月31日の間に放射線治療を開始した			
例: 令和5年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線	泉治療を受けた場		
体外照射		54	人
そのうち特殊なもの			
定位照射(脳)		0	,
定位照射(体幹部)		0	人
強度変調放射線治療(IMRT)		0	,
小線源治療		0	۸.
	rh + ** \		
アー2 のべ患者数(令和5年11月1日~令和6年2月29日の間に放射線治療を開始した		1 日 人 (1 o 左 1 米L こ フ	
例: 令和5年11月に新患として放射線治療を受け、令和6年2月に転移で再度放	射線冶療を受け	た場合は2名と数える	0.0
< 入院 >			
肺がん		0	٨ .
目がん ロガジ			۸
肝がん		0	۸ .
大腸がん		0	۸ .
乳がん		0	۸
<外来>		-	
肺がん		0	^
胃がん		0	٨.
肝がん		0	,
大腸がん		1	<u></u>
乳がん		5	, ,
/ 1 四針同数 (今和5年11日1日 - 今和6年6日06日本本《四柱日本》			
イ-1 照射回数 (令和5年11月1日~令和6年2月29日ののべ照射回数)		25-	
体外照射		257	<b>•</b>
そのうち特殊なもの			
定位照射(脳)		0	0
定位照射(体幹部)			
強度変調放射線治療(IMRT)		0	
小線源治療		0	0
( a a a a mai la the ( a de e te			
イ-2 のべ照射回数 (令和5年11月1日~令和6年2月29日)			
< 入院 >			
肺がん		30	0
胃がん		0	0
肝がん		0	0
大腸がん		0	0
乳がん		0	0
<外来>			
肺がん		0	0
胃がん		0	0
肝がん		0	0
大腸がん		10	0
乳がん		48	0
) がんに係る化学療法 (令和5年11月1日~令和6年2月29日)			
ア のべ患者数 (化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象を	<b>トとする。)</b>		
例:令和5年11月1日~令和6年2月29日の間に、エトポシド+シスプラチン併用療法4コース実			
	<入院>	32	۸
	<外来>	21	人
イ のべ処方件数 (抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数		+のレジメンは対象外	とする。)
例:令和5年11月1日~令和6年2月29日の間に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数			
	<入院>	161	件
	<外来>	201	件
ウ のべ患者数 (内服のみのレジメンで実施した化学療法1レジメンを1人として数え			
	<入院>	22	件
	<外来>	20	件
		·-	
エ のべ処方件数 (内服のみのレジメンで抗がん剤が処方された件数に、それぞれの	D処方日数をかり		
	<入院>	1404	件
	<外来>	435	件
)検査等の実施状況			
ア 病理診断の件数			
病理診断(令和5年1月1日~令和5年12月31日)		718	件
細胞診診断(令和5年1月1日~令和5年12月31日)		1684	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(令和5年1月1日~令和5年12月31日)		5	件
剖検(令和5年1月1日~令和5年12月31日)		0	件
到検率(令和5年1月1日~令和5年12月31日)		0	%
イ 画像診断等の件数 (令和5年1月1日~令和5年12月31日)			
上部消化管内視鏡検査(食道及び胃・十二指腸ファイバースコピー。手術に伴	って検査		
を行った患者数も計上すること)	- 2722	3519	件
気管支内視鏡検査(気管支ファイバースコピー。手術に伴って検査を行った患者	f数も計上するこ	En	J/+
	が数も計上するこ	53	件

大腸内視鏡検査(大腸及び直腸ファイバースコピー。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	514	件
血管連続撮影 (動脈注射、動脈造影カテーテル法、静脈造影カテーテル法、心臓カテーテル 法により、心臓や血管内に造影剤を注入して連続撮影を行う検査。手術に伴って検査を行った 患者数も計上すること)	318	件
CT検査 E2001\$	6969	件
CTガイド下生検 D409からD413までに掲げるものをCT透視下に行った場合	0	件
MRI検査 E202\$	2530	件
RI診断検査(シンチグラム) E100\$	238	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査 E101	203	件
PET(陽電子断層撮影)検査 E101-2\$、E101-3\$	331	件

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院 推定要件での扱い A:必須 B:原則必須 C:対応することが望ましい 一:推定要件に配載なし

1 於唐什即		一:預	定要件に言	C職なし	
1. 診療体制 (1)診療機能					
(1)診療機能	台療の提供体制と標準的治療等の提供				
機能	コホマルにパロットリカルボサマルにア				
7	我が国に多いがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有する(放射線療法については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可)とともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。  *「我が国に多いがん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。  *「集学的治療等と」は、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケアをいう。  *「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療という。	А		はい	(はいいえ)
1	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	Α		はい	(はいいえ)
ウ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙3に記載すること。	-		別紙3	
エ	我が国に多いがんについて、クリティカルパスを整備している。 *「クリティカルパス」とは、検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。	Α		はい	(はい・いいえ)
オ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカ ルパスを整備している。	-		はい	(はい・いいえ)
カ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカルパスを整備状況を別紙4に記載すること。	-		別紙4	
+	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、キャンサーボードを設置している。 * キャンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	С		いいえ	(はい・いいえ)
② 化学療法	よの提供体制				
機能					
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	Α		はい	(はいいえ)
1	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院 できる体制を確保している。	С		はい	(はい・いいえ)
ゥ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 *「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	С		はい	(はいいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、 キャンサーボードと連携協力している。	С		いいえ	(はいいえ)
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙5に記載すること。	-		別紙5	
診療従輩	事者				
アイ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数 うち専任		以上A	はい 4	(はいいえ) 人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する薬剤師数		以上C	1	<del>\</del>
-			XIC.		
エ	うち常勤の専任	С		1	Α
オ	外来化学療法室または外来における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する看護師数	1人	以上C	6	٨
カ	うち常勤の専任	С		6	人
+	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の 専門性について、別紙6に記載すること。	-		別紙6	
③ 放射線線					
	施医療機関のみ記入してください)	-			
ア	定期的な線量計の校正を実施している。	-		はい	(はい・いいえ)
1	治療用線量計の最終校正日(和暦YY年MM月DD日)	-		令和6年6月10日	// · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ウ	外部委員を含む放射線治療品質管理委員会を設置している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
I	第三者機関によるリニアックの出力線量測定を受けている。	-		いいえ	(はい・いいえ)
オ	測定機関名	- 704	也の場合		(医用原子力技術研究振興財団、その他)
ъ	実施年月日(和暦YY年MM月DD日)	-	ニジャ物ロ		
診療従来		_			
<b>ア</b>	〒19 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人1	以上A	2	
1	カスター カスター アングラー アングラー アングラー アングラー カスター アングラー アング アングラー アング			2	<u> </u>
ゥ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数		以上A	2	<del>\</del>
ェ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業 等に携わる技術者等の人数		以上C	0	λ
オ	うち常勤の専任	С		0	
カ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙方に記載すること	-		別紙7	
体制(連	携対応の医療機関のみ記入してください)				
ア	他の医療機関との連携によって対応する場合、連携する医療機関名について 別紙8に記入すること。	Α		別紙8	

### 2000	(4) 緩和ケア	の提供体制				
		**************************************				
	ア		Α		はい	(はい・いいえ)
ウ 接利ソアチームへの入産産業を終り予禁機について別様的に受えずると、 −					BILKEO	
工 外系において書からなおわって多世界できる情報を発電している。 ○ 25.0 (20-14.152)						
カ 外担において書から記録から主義的できる利用でいて計画に正と大きた。 - 別報11 (はいいいえ) (はいいんしん) (はいいんしん) (はいいんしん) (はいいいんしん) (はいいんしん) (はいいんしん) (はいいんしん) (はいいんしん)			_			(はい・いいえ)
### 1987 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	オ				41	Д
	カ		-		別紙11	
	+		Α		はい	(はい・いいえ)
	ク		-		別紙12	
展示的、近人へと、	7		_		別紙13	
### するなど、がんを書に対し必要な情報提供を実施している。	,				733,1941.0	
1	コ		Α		はい	(はい・いいえ)
2 振列点・チラン等で広報している。	Ħ		-			
3ホームペーンに移動している。		1.院内の見やすい場所に掲示している。	-		はい	(はい・いいえ)
接続している場合、設計するページの内孔を記載するとと。						
4.地域の広報記等で広報している。				1.1. //		(はい・いいえ) /wp-content/upioags/2023/07/pailiative-
1				http://	care ndf	((+1),(1)(2))
		5. (4) [B4) A C [4] A C C C C C	具体的	<u> </u>		1 (100 0 0 72)
ス に、退除後の居宅における職権のアに関する母妻上必要を説明及び指導を A はい (はいいいえ)   世	シ		-		別紙14	
で の整備に協力している。	ス	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共 に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を	Α		はい	(はい・いいえ)
9 議和ケア病権を有している。         -         しいえ         (はいしいえ)           チ 疼痛緩和の腕内マニアルがある。         -         はい (はいしいえ)           少 院内で統一した疼痛の評価尺度がある。         -         はい (はいしいえ)           ア 有する医療数         1人以上C         5         人           ク 緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を 有する医療数	セ		Α		はい	(はい・いいえ)
	ソ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)	-		0	床
ツ 院内で統一した疼痛の評価尺度がある。         -         はい (はいいえ)           診療従事者         裏和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有すること。 すする医師教         1人以上C         5         人           イ         55 英雄和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する 者護師数         1人以上C         1人以上C         1人以上C         1人以上C         1人以上C         0         人           本 緩和ケアチームに払いて専門的な知識及び技能を有する 着護師数         1人以上C         0         人         1人以上C         0         人         1人以上C         0         人         1人以上C         0         人         日人以上C         0         人         人         1人以上C         0         人         人         日人以上C         0         人         人         日人以上C         0         人         人         人         日人以上C         0         人         人         人         日人以上C         0         人         人         人         人         人         日人以上C         0         人         人         人         人         人         日本のよるよるよるよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよ	タ	緩和ケア病棟を有している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
ツ 院内で統一した疼痛の評価尺度がある。         -         はい (はいいえ)           診療従事者         裏和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有すること。 すする医師教         1人以上C         5         人           イ         55 英雄和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する 者護師数         1人以上C         1人以上C         1人以上C         1人以上C         1人以上C         0         人           本 緩和ケアチームに払いて専門的な知識及び技能を有する 着護師数         1人以上C         0         人         1人以上C         0         人         1人以上C         0         人         1人以上C         0         人         日人以上C         0         人         人         1人以上C         0         人         人         日人以上C         0         人         人         日人以上C         0         人         人         人         日人以上C         0         人         人         人         日人以上C         0         人         人         人         人         人         日人以上C         0         人         人         人         人         人         日本のよるよるよるよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよるとのよ	チ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。	-		はい	(はい・いいえ)
診療従事者			_		<b>}</b>	
接和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数					18.0	(1201-01012)
有する医師数						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	ア	有する医師数		以上C	5	۸
	1		С		5	Д
	ゥ		1人」	以上C	1	Д
方ち常勤の専従	I	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する	1人」	以上C	0	Д
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
カ 緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
(はい・いいえ)		緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に 携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙				
機能(実施医療機関のみ記入してください)  ア 診断のダブルチェックを行っている。	⑤ 病理診					
ア 診断のダブルチェックを行っている。         - はい (はい・いいえ)           イ 臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。         - はい (はい・いいえ)           ウ 臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。         - はい (はい・いいえ)           エ 同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。         - はい (はい・いいえ)           診療従事者         - はい (はい・いいえ)           ア 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数         1人以上A           イ 細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数         1人以上C         1 人           ウ 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙16に記載すること         別紙16           イ制に接対応の医療機関のみ記入してください) 病理診断について、他の医療機関といて、対抗17に記入すること。         - 別紙16           ア 病理診断について、他の医療機関とこいて、別紙17に記入すること。また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の状態に関するはかったのと療機関といる。						
ウ 臨床グルーブからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。         -         はい (はい・いいえ)           エ 同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。         -         はい (はい・いいえ)           診療従事者         1人以上A         1人以上A           ア 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有するヨメディカルスタッフ数	ア	診断のダブルチェックを行っている。	-			
エ			-			
おうになっている。	ウ		-		はい	(はい・いいえ)
ア 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数 1人以上A 1 人		ようになっている。	-		はい	(はい・いいえ)
イ 細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数       1人以上C       1       人         ウ 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、 別紙16に記載すること       - 別紙16       別紙16         体制(連携対応の医療機関のみ記入してください)       - 別紙17         ア 病理診断について、他の医療機関から協力を得られる体制の場合、病理診断 の協力を得られる医療機関名について別紙17に記入すること。       A 別紙17         ⑥ 病病連携・病診連携の協力体制 拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。 また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の 紹介を行っている。       A はい (はいいいえ) 知紙18         イ 地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。 病理診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する連携協力体制を整備している。 協力体制を整備している。       - 別紙18         エ 地域の医療機関との連携協力体制の整備状況について、別紙19に記載すること。       - 別紙19         まが国に多いがんについて、地域連携クリティカルパスの整備に協力している。 * 「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療 役割分担象、共同診療計画表のと患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体 役割分担象、共同診療計画表のと患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体       A はい				<u> </u>		1
ウ 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、	ア		-		1	
分組16に記載すること	1		1人」	以上C	1	٨
ア 病理診断について、他の医療機関から協力を得られる体制の場合、病理診断 A 別紙17  (6) 病病連携・病診連携の協力体制  拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の A はい (はい・いいえ) 紹介を行っている。  イ 地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。 - 別紙18  病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。  エ 地域の医療機関との連携協力体制の整備状況について、別紙19に記載すること。 - 別紙19  まが国に多いがんについて、地域連携クリティカルパスの整備に協力している。 * 「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療 A (はい・いいえ) はい (はい・いいえ) が (はい・いいえ) が (はい・いいえ) なる。 * 「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療の全体 (はい・いいえ) はい (はい・いいえ) ない はい はい はい (はい・いいえ) ない はい はい はい (はい・いいえ) ない はい はい はい はい はい (はい・いいえ) ない はい はい はい はい はい いん はい いい は 連携 クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療の全体 ない はい はい いい えい はい はい いい えい はい はい いい えい は はい いい えい は はい いい えい は はい いい えい は はい いい えい はい はい いい ない はい いい えい はい いい はい いい ない ない はい いい ない はい はい いい えい はい いい ない はい はい はい いい ない はい いい ない ない はい ない はい いい ない はい ない はい ない はい ない はい はい ない はい はい ない はい ない はい ない はい ない はい ない ない ない はい ない ない ない ない ない ない ない はい ない		別紙16に記載すること	_		別紙16	
の協力を得られる医療機関名について別紙17に記入すること。					DI 64	
拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。 また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の A はい (はいいいえ) 紹介を行っている。		の協力を得られる医療機関名について別紙17に記入すること。	A		別秕17	
ア また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の A はい (はい・いいえ) 紹介を行っている。	<b>少 "M</b> / / / / / / / / / / / / / / / / / / /					
イ 地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	ア	また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の	Α		はい	(はい・いいえ)
ウ する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携 A はい (はい・いいえ) 協力体制を整備している。  エ 地域の医療機関との連携協力体制の整備状況について、別紙19に記載する こと。  我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパスの整備に協力している。。 * 「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療 A 役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体	1	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	-		別紙18	
エ こと。	ウ	する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携	А		はい	(はいいいえ)
る。 オ ・ 「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療 A 役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体			-		別紙19	
プ *「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療 A 役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体 はい・いいえ)						
	オ	*「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療 役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体	Α		はい	(はい・いいえ)

	カ	地域の医療機関等と協力し、地域連携クリティカルパスを積極的に活用してい	Α		はい	(はい・いいえ)
	+	る。	_			(140,-0,0,7)
(7)		地域連携クリティカルパスの整備状況について、別紙20に記載すること。 ナピニオンの提示体制	_		別紙20	
	<u>セカンドル</u> ア	1 ーインの使小体制 我が国に多いがんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門 的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する機能を 持つか、セカンドオピニオンの可能な他の医療機関を紹介するなど施設間連 携によって対応できる体制を有している。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が 提示する医療上の意見をいう。	А		はい	(はい・いべえ)
	1	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙21に記載すること。	-		別紙21	
	ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報 手段				
		1.院内の見やすい場所に掲示している。	-		はい	(はい・いいえ)
		2.院内誌、チラシ等で広報している。 3.ホームページに掲載している。	-		いいえ はい	(はい・いいえ) (はい・いいえ)
		掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。		http://	www.saiseikaisaijo.jp/	
		4.地域の広報誌等で広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
		5.その他の方法で掲載している。			いいえ	(はい・いいえ)
			具体的	的に	Dil Aff o o	
	_ エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙22に記載すること。セカンドオピニオン外来がある。	_		別紙22 はい	(はい・いいえ)
(8)	その他	ピカンドオピーオンが未がめる。			140,	(1301-010-2)
		のサポート体制				
	ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	С		はい	(はい・いいえ)
	1	推進病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	Α		はい	(はいいえ)
		腫の診療				
	ア	リンパ浮腫外来がある。	-		いいえ	(はい・いいえ)
-	1	担当科	_		はい	(1+12-1212-2)
(2)医	療施設	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	_		IAU,	(はい・いいえ)
		こがん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置				
	ア	放射線療法を行う場合、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当 該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	Α		はい	(はい・いいえ)
	イウ	外来化学療法室を設置している。 集中治療室を設置している。	C		はい いいえ	(はい・いいえ) (はい・いいえ)
	I	白血病を専門とする分野に掲げている場合、無菌病室を設置している。	А		白血病を専門とし ていない	(設置、白血病を専門としているが設置なし、白血病を専門としていない)
	オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けてい る。	С		いいえ	(はい・いいえ)
<b>②</b>	力 敷地内禁	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙23に記載すること。 ・	_		別紙23	
	ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	Α		はい	(はい・いいえ)
	1	禁煙の状況	-		敷地内を全面禁煙	(敷地内を全面禁煙、施設内のみを全 面禁煙、その他)
			その作記載	也の場合	敷地内を全面禁煙	
	ウ	禁煙外来を実施している。	_		はい	(はい・いいえ)
0	I	「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」(令和元年)に準拠している	_		はい	(はい・いいえ)
2 研	修の実施					
(1)	ア	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する 研修に積極的に協力するとともに参加している。	Α		はい	(はい・いいえ)
	1	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する 研修会への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	_		別紙24	
(2)	ア	(1)のほか、拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加している。	Α		はい	(はい・いいえ)
	1	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙25に記載すること。	_		別紙25	
(3)	7	拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスに積極的に参加している。	A		はい	(はい・いいえ)
3 情報	イ 報の収集	合同カンファレンスの参加状況について別紙26に記載すること。 提供体制			別紙26	
	談支援機					
		目談支援機能を有する窓口(以下「相談支援窓口」)を設置している。	Α		はい	(はい・いいえ)
2		コに配置しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以	以上A I	4	人
3	等に対応	コは、拠点病院と連携して、患者、その家族及び地域の医療機関等からの相談 ちする体制を整備している。 援窓口の相談対応状況を別紙27に記載すること。	A _		はい 別紙27	(はい-いいえ)
5	相談支援	接恋口の相談対応状況を別載271-記載すること。 嬰に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築につい 281-記載すること。	_		別紙28	
6	相談件数		_		38	件
	ア	対面相談			36	件
-	1	電話相談			2	件
	<u>ウ</u> ェ	fax相談 e-mail相談			0	件
(7)		で、1111年版 な窓口について別紙29に記載すること。	_		別紙29	10
. •					•	

( - \ m-i	- 1 12 9 47				
(2)防	記内がん登録				
1	院内がん登録を実施している。その際、がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成27年厚生労働省告示第470号)に即して実施するよう努めている。	Α		はい	(はいいいえ)
2	院内がん登録の登録様式については、国立がん研究センターが提示する院内がん登録に係る標準様式に準拠している。	С		はい	(はい・いいえ)
	ア 院内がん登録の登録項目数	-		89	項目
	イ 院内がん登録の登録実施項目について、別紙30に記載すること。	-		別紙30	
3	院内がん登録を活用することにより、愛媛県が行うがん登録事業に積極的に協力して いる。	Α		該当都道府県に協 力	(複数の都道府県に協力、該当都道府 県に協力、所在都道府県において未実 施、協力未実施)
(3) そ	-の他				
1	我が国に多いがん以外のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有し、及び標準的治療等を提供している場合は、そのがんの種類等を広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://		
	4 地域の広報誌等で広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲載している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	- C. 10. 10 W Classoc Co. 00	具体的	的に		1
(2)	臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。	- < 170			
	ア 集を広報している。 単行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-		はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	www.saiseikaisaijo.jp/	
	4 地域の広報誌等で広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲載している。	_		いいえ	(はい・いいえ)
	0 での他のバルでは戦のでいる。	具体的	kh1-	0.0.7	(120, 0.0.2)
	イ 参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報することが望ましい。	-	, jic		
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
L	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-		はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	www.saiseikaisaijo.jp/	clinical/
	4 地域の広報誌等で広報している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲載している。	_		いいえ	(はい・いいえ)
		具体的	的に		
	ウ 院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-		はい	(はい・いいえ)
	窓口で対応している。	-		はい	(はい・いいえ)
	電話で対応している。	-		はい	(はい・いいえ)
	FAXで対応している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	e-mailで対応している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
(3)	その他の情報提供等				
	ア 患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-		はい	(はい・いいえ)
	イ 地域住民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるい はマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-		いいえ	(はい・いいえ)
	ウ 患者・住民向け講演会を定期的に開催している。	-		いいえ	(はい・いいえ)
	エ 患者・住民向け講演会の実施情報について、別紙31に記載すること。	-		別紙31	
	オ 推進病院として、地域住民に対する病院の今後の取組方針などのアピールを 別紙32に記載すること。	_		別紙32	

## 保有する放射線診療機器等の一覧

病院名 会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

令和6年4月1日現在

#### 1. コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	O社	ABC-12	2015年10月1日	8列
1	GEヘルスケアジャパン(株)	LightSpeed VCT	2009年9月1日	64 <i>列</i> ]
2				
3				
4				
5				
6				
7				

#### 2. 磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度(テスラ数)
(例)	O社	ABC-12	2015年10月1日	1.5T
1	GEヘルスケアジャパン(株)	SIGNA Voyager	2024年3月25日	1.5T
2				
3				
4				
5				
6				

#### 3. 核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	O社	ABC-12	2015年10月1日	
1	PET/CT装置	GEヘルスケア・ジャパン㈱	Discovery IQ	2021年3月8日	16列
2	ガンマカメラ	シーメンス・ジャパン(株)	Symbia-E	2014年3月31日	Dual Head System
3					
4					
5					

#### 4. マンモトーム

メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例) 〇社	ABC-12	2015年10月1日	
1			
2			
3			
4			

## 5. 血管造影連続撮影検査(または IVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	O社	ABC-12	2015年10月1日	
1	血管撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン㈱	Innova3131IQ	2011年10月25日	
2					
3					
4					
5					

#### 6. 外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下 の 多段コリ メータの有 無
(例)			ABC-12	2015年10月1日	6MV、10MV	有
1	リニアック	㈱バリアンメディカルシス テムズ	CLINC-ix	2007年3月28日	4MV,10MV	有
2						
3						

#### 7. 小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	O社	ABC-12	2015年10月1日	イリジウムー192
1				
2				
3				

#### 放射線治療計画システム

#### 8. X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	O社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

#### 9. 放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	O社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

## 10. 三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

		メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(1		~ · <del>-</del>	ABC-12	2015年10月1日	
	1	㈱バリアンメディカルシステ ムズ	ECLIPSE	2007年3月28日	
	2				
	3				

#### 11. バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	O社	ABC-12	2015年10月1日
1			
2			
3			

# 先進医療への対応状況 (がんに関するもの)

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病

	先進医療技術名	第2項/ 第3項 (※)	承認年月日	実施件数 (令和5年11 月~令和6年 3月)	担当診療科名
1	なし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

## 診療機能

期間 令和6年4月1日時点 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病

						各治療の実施状	況と実績				
	診療状 況			現在の実施 状況	昨年の 実績 ※令和5		各科の当		ホー	ムページへ	の掲載内容
対象疾患	(診療 可· 診療不 可)	<i>;</i>	台療内容	※令和6年 4月時点 (実施可·未 実施)	年1月1 日~令 和5年12 月31日 (あり・な し)	担当診療科	該疾患を専門としている医師数	治療内 容の掲 (はい・ いいえ)	治療実 績の掲 (はい・ いいえ)	医師の専門分野の 掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を 掲載しているページの URL ※複数のページのURLの 記載可
		手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http:// ·····
		, ,,,	胸腔鏡下手術	実施可	あり	7 2000 7111					
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
(例) 肺がん	診療可		体外照射	実施可	あり						
		放射線療法	小線源治療	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	実施可	あり						
		集学的治療		実施可		上記の科					
		手術	開胸手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	内科・外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
n.t. i & i			体外照射	実施可	あり						
肺がん		放射線療法	定位放射線治療	未実施	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
	_	光線力学療法	小線源治療 線力学療法		なしなし			いいえ	いいえ	いいえ	
		光線力学療法 集学的治療		実施可		内科·外科			0.00%		
		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		נוארד	腹腔鏡下手術	実施可	あり	7114	7	0.0.7	0.0.7	0.0.7	
		内視鏡的治 療	粘膜切除術(EMR) 粘膜下層剥離術 (ESD)	実施可実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
胃がん		化学療法	(LOD)	実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		光線力学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		内科·外科					
		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術	実施可	あり	711f	4	0.0.7	0.0.7	0.0.7	
		内視鏡的治 療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
大腸がん		化学療法		実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし		-				
		集学的治療		実施可		内科·外科					

						各治療の実施状況	兄と実績				
対象疾患	診況 (診可療) (診可)	,	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施) 実施)	昨年の 実令和5 年1月1 日~年12 月31日 (あり・な し)		各科の当を 専門とし ている医 師数	治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	ホー 治療実 績の掲 載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野の 掲載	の掲載内容 左記の内容を 掲載しているページの URL ※複数のページのURLの 記載可
		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
			ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	-					
		穿刺療法	マイクロ波凝固法 エタノール局所注入	実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
肝がん			療法	実施可	なし						
		肝動脈塞栓術	(TAE)	実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法		実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
	=	定位放射線治療 集学的治療		実施可	なし	内科·外科					
			乳房切除	実施可	あり	M Isl		いいえ	いいえ	いいえ	
		手術	乳房温存	実施可	あり	- 外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
			乳房再建	実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
乳がん		放射線療法	体外照射	実施可	あり	大佐 白十く白 エリ	2	13135	いいえ	いいえ	
		以剂 秘尔达	小線源治療	未実施	なし	- 放射線科	2	いいえ	いいべ	いいえ	
		冷凍凝固摘出	術	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		外科					

						各治療の実施状況	況と実績				
	診療状				昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
対象疾患	況	ž	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施可・未 実施)	実令 年1月1 日~年12 月31日 (ありし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数		治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
		手術		実施可	なし	脳神経外科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	脳神経外科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			体外照射	実施可	あり						
			定位放射線治療	未実施	なし			_	_		
nw n=		放射線療法	強度変調放射線治 療(IMRT)	未実施	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
脳腫瘍			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		未実施							
		日)	の治療実績 1日〜令和5年12月31 りの疾患名を右記の	細胞腫、悪性	Eリンパ腫	性星細胞腫、退形 、頭蓋咽頭腫など	- 成性星細胞 :	包腫、膠芽	腫など)、	髄膜腫、神	経鞘腫、下垂体腺腫、胚
		機に記載してく		転移性脳腫瘍						,	
		手術		未実施	なし	外科·整形外科	7	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	なし	外科·整形外科	7	いいえ	いいえ	いいえ	
			体外照射	実施可	なし						
		放射線療法	定位放射線治療	未実施	なし	放射線科					
脊髄腫瘍			強度変調放射線治 療(IMRT)	未実施	なし		2	いいえ	いいえ	いいえ	
171202700			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療									
			の治療実績 1日~令和5年12月31	例:脊髄腫瘍	など						
		日) ※治療実績あ 欄に記載して<	りの疾患名を右記の (ださい								
		手術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		冷凍凝固術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		光凝固術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		眼動注		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			体外照射	未実施	なし						
眼、眼窩 腫瘍		放射線療法	強度変調放射線治 療(IMRT)	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		未実施				_			
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:眼臉腫瘍	. 結膜腫	傷、網膜芽細胞腫	重、ぶどう膜	悪性黒色	腫、涙腺腫	重瘍など	
		日)	りの疾患名を右記の								

						各治療の実施状況	況と実績				
	診療状				昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
対象疾患	況 (診療 可· 診療不 可)	,	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施)	実績 ※令和5 年1月1 日~年12 月31日 (あり・ひ	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数		治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
		手術	摘除術、再建術	実施可	なし	外科・歯科口腔外科	8	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科・歯科口腔外科	8	いいえ	いいえ	いいえ	
			体外照射	実施可	あり						
		放射線療法	強度変調放射線治 療(IMRT)	未実施	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
頭頸部			小線源治療	未実施	なし						
がん		集学的治療		実施可		外科·歯科口腔外 科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31				べん、喉頭か	ん、舌が	ん、歯肉な	がん、頬粘腸	莫がん、唾液腺がん、上顎
		日)	りの疾患名を右記の	下顎がん							
		手術		実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	1		なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
			体外照射	実施可	あり						
	放射線療法	強度変調放射線治 療(IMRT)	未実施	なし	+6-64-60-11		1313=	いいえ	1313=		
		<b>瓜</b> 别 椒 煮 <b>左</b>	小線源治療	未実施	なし	_	2	いいえ	いいえ	いいえ	
甲状腺 がん			放射性ヨード内服治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		外科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:甲状腺カ	べん		•				
		日) ※治療実績あ 欄に記載して<	りの疾患名を右記の ください	甲状腺がん							
		手術	開胸手術	実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		3 H3	胸腔鏡下手術	実施可	なし						
		内視鏡的治	粘膜切除術(EMR)	実施可	なし	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		療	粘膜下層剥離術(ESD)	未実施	なし						
		化学療法	ı	実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
食道が ん			小線源治療	未実施	なし						
		光線力学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		未実施 内科·外科							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日~令和5年12月31 日)							)など		
			りの疾患名を右記のください	食道がん							

						各治療の実施状況	況と実績				
	診療状			明左の実施	昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
対象疾患	況 (診療 可· 診療不 可)	;	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施可・未 実施)	実績 ※令和5 年1月1 日~令 和5年12 月31日 (あり・な し)		各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数		治療実績等の掲載(はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
		手術	開胸手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	•	実施可	なし	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
縦隔腫 瘍		集学的治療		実施可		内科·外科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:胸腺腫な	٤.						
		日) ※治療実績あ 欄に記載して<	りの疾患名を右記の ください	胸腺腫							
		手術		実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
中皮腫		集学的治療		実施可		外科					
		昨年の各疾患 (会和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:中皮腫	•		•				
		日)	りの疾患名を右記の								
		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
膵がん		集学的治療		実施可		内科·外科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:膵がん							
		日) ※治療実績あ 欄に記載して<		膵がん							
		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
胆道が			小線源治療	未実施	なし						
<i>λ</i>		集学的治療		実施可		内科·外科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例: 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん							
		日)	りの疾患名を右記の	胆管がん、胆	嚢がん						

						各治療の実施状況	況と実績				
	診療状			77.4.5.4.4.	昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
対象疾患	況 (診療 可· 診療不 可)	;	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施施)	実績 ※令和5 年1月1 日~令 和5年12 月31日 (あり・な し)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	治療内 容の掲 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
十二指腸・小腸がん		集学的治療		実施可	可 内科·外科						
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:乳頭部か	<b>ぶん、十二</b>	指腸がん、小腸が	べんなど				
		日) ※治療実績あ 欄に記載して<	りの疾患名を右記の ください	十二指腸肉腫	i						
			開腹手術	未実施	なし						
		手術	腹腔鏡下手術	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし						
		化学療法	1	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
腎がん		インターフェロ	ン療法	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		インターフェロン療法 集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:腎がん							
		日) ※治療実績あ 欄に記載して<	りの疾患名を右記の ください								
		手術	開腹手術	未実施	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			経尿道的手術	実施可	なし						
		化学療法	T	実施可	あり	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
膀胱が		膀胱内注入療	法	実施可	あり	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
h		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患		例:膀胱がん	,						
		日)	1日〜令和5年12月31 りの疾患名を右記の (ださい	膀胱がん							

						各治療の実施状況	況と実績					
	診療状				昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況	
対象疾患	況 (診療 可· 診療不 可)	Ä	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施) 実施)	実績 ※令和5 年1月1 日~令 和5年12 月31日 (あり・な し)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	治療内 容の掲 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
			開腹手術	未実施	なし							
		手術	腹腔鏡下手術	未実施	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
			経尿道的手術	実施可	なし							
		化学療法		実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
尿路が ん		腎盂·尿管内法	主入療法	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療		実施可		泌尿器科						
			の治療実績 1日~令和5年12月31	例:腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど								
		日) ※治療実績あ 欄に記載してく	りの疾患名を右記の (ださい									
		手術	開腹手術	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
副腎腫 瘍		集学的治療		実施可		泌尿器科						
		昨年の各疾患	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど								
		日)	りの疾患名を右記の									
			開腹手術	未実施	なし							
		手術	腹腔鏡下手術	未実施	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし							
		化学療法	<b>r</b>	実施可	あり	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
			体外照射	実施可	あり	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
前立腺がん		放射線療法	強度変調放射線治 療(IMRT)	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
13.70			小線源治療	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療		実施可		泌尿器科						
			の治療実績 1日~令和5年12月31	31 例:前立腺がん								
		日) ※治療実績あ 欄に記載してく	りの疾患名を右記の	前立腺がん								

						各治療の実施状況	兄と実績				
	診療状			田大の中生	昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
対象疾患	況 (診療 可· 診療不 可)	;	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施可・未 実施)	実績 ※令和5 年1月1 日~年12 月31日 (あり・な し)		各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数		治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURL 記載可です
		手術		実施可	なし	外科 泌尿器科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	なし	外科 泌尿器科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
精巣がん		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患 (会和5年1日	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:精巣がん	,						
		日)	りの疾患名を右記の								
		手術		実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	1	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
7.014		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
その他 の男性 生殖器 がん		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:陰茎がん	,						
		日) ※治療実績ありの疾患名を右記の 欄に記載してください									
		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術(膣式)	未実施	なし						
		化学療法	/+ N 07 64	実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射 小線源治療	実施可 未実施	なしなし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
子宮がん		光線力学療法	<u> </u>	実施可				いいえ	いいえ	いいえ	
. •		集学的治療		実施可		外科					
			の治療実績 1日~令和5年12月31	例:子宮頸がん、子宮体がん							
		日) ※治療実績あ 欄に記載して <sup>く</sup>	りの疾患名を右記の ください							1	
		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	1	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
卵巣がん		集学的治療				外科					
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:卵巣がん							
		日)	りの疾患名を右記の	卵巣がん							

					貴院に	おける各治療の	実施状況と	実績				
	診療状況			現在の実施	昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況	
対象疾患	(診療 可· 診療不 可)	,	台療内容	状況 ※令和6年 4月時点 (実施可·未 実施)	実績 ※令和5 年1月1 日~令 和5年12 月31日 (あり・な し)		各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	治療内 容の掲 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
		手術	開腹手術	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法		実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		<b>廿</b> 射 纳 泰 注	体外照射	実施可	なし	ナケ 白ナ 4白 チリ	0	13135	13133	1313=		
その他		放射線療法	小線源治療	未実施	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
の女性 生殖器 がん		集学的治療		実施可		泌尿器科						
		昨年の各疾患 (令和5年1月 日)	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:子宮肉腫	重、絨毛が	ん、卵管がん、膣	がん、外陰	がんなど				
			りの疾患名を右記の ください									
		手術		実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法		実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		インターフェロ	ン療法	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
皮膚腫瘍		凍結療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
700		集学的治療		実施可		外科						
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど								
		日)	りの疾患名を右記の									
			切・離断術	未実施	なし							
		手術	患肢温存術	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
			再建術	未実施	なし							
		11 - 224 r <del>ie</del> v t	骨移植術	未実施	なし							
		化学療法	/_ L	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ		
悪性骨 軟部腫		放射線療法	体外照射 小線源治療	未実施未実施	なしなし			いいえ	いいえ	いいえ		
瘍		集学的治療	"上"杯·斯尔·/口"原	未実施								
			の治療実績 1日~令和5年12月31	例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫 31								
		日) ※治療実績あ 欄に記載してく	りの疾患名を右記のください									

						各治療の実施状態	況と実績				
	診療状				昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
対象疾患	況 (診療 可・ 診療不 可)	;	台療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施)	実績 ※令和5 年1月1 日~年12 月31日 (あり・な し)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数		治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
		化学療法		実施可	あり	内科·外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
			自家末梢血幹細胞 移植	未実施	なし						
		移植	血縁者間同種造血 幹細胞移植	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			非皿稼石間问種宵 髄移植または臍帯血 移植	未実施	なし						
血液腫		放射線療法	体外照射	実施可		放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
瘍		)JX/11/0/JX/JX	全身照射	実施可		放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		内科·外科					
		昨年の各疾患 (会和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:急性リン 群、多発性報	パ性白血 骨髄腫、ホ	病、急性骨髄性白いシャンパ腫、	血病、慢性 非ホジキン	Eリンパ性 リンパ腫な	白血病、h	曼性骨髄性	白血病、骨髄異形成症候
		日)	りの疾患名を右記の	慢性骨髓性白							
		手術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			体外照射	未実施	なし						
		放射線療法	定位放射線治療	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
小児脳			強度変調放射線治 療(IMRT)	未実施	なし			0.0.7	0.0.7	0.0.7	
腫瘍			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療									
		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:神経膠膕	重、頭蓋咽	頭腫、髄芽腫、胚	細胞腫など				
		日)	りの疾患名を右記の								
		手術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		眼動注		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
ds		放射線療法	体外照射	未実施	なし			13137	いいえ	いいえ	
小児網		JJ. 7] NV /京 /広	小線源治療	未実施	なし			いいえ	0.0.7	0 · 0 · 1/L	
児網膜芽細		冷凍凝固術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
胞		光凝固術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
腫		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患 (会和5年1日	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:小児網膊	芽細胞腫	<b>1</b>					
小児固形		日)	りの疾患名を右記の								
固形											

A	重						各治療の実施状	況と実績				
担	易	診療状			用去る古ど	昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
		況 (診療 可· 診療不 可)	;	治療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施施)	※令和5 年1月1 日~令 和5年12	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	治療内 容の掲 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
			手術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			化学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
	小児		放射線療法	体外照射	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
	悪性		7,7,7,7,7,7,7	小線源治療	未実施	なし						
	骨軟部腫		集学的治療		未実施							
	瘍		昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:横紋筋肉	腫、線維	肉腫、骨腫瘍、ユ	.ーイング肉	腫など			
			日)	りの疾患名を右記の								
			手術		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
	そ		化学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
	の他の		放射線療法	体外照射	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
	の小児		7,	小線源治療	未実施	なし						
	固形		集学的治療		未実施							
	腫瘍		日)	1日~令和5年12月31 りの疾患名を右記の	例:神経芽細	I胞腫、Wi	lms腫瘍、肝芽腫	など				
			化学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
				自家末梢血幹細胞 移植	未実施	なし						
			移植	血縁者間同種造血 幹細胞移植	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
				非血縁者間同種骨 髄移植または臍帯血 移植	未実施	なし						
	小児血 夜腫瘍		放射線療法	体外照射	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
			1323 19873672	小線源治療	未実施	なし			0 0 72			
			集学的治療	•	未実施							
			日)	1日~令和5年12月31	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形 群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など							白血病、骨髄異形成症候
			※冶療美額の 欄に記載して	りの疾患名を右記のください								
			手術		実施可	なし	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
			化学療法		実施可	なし	内科・外科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
			放射線療法		実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
	[発不 ]がん		集学的治療		実施可		内科·外科					
			昨年の各疾患 (令和5年1月	の治療実績 1日~令和5年12月31	例:原発不明	がん						
		E >	日)	りの疾患名を右記の								

					各治療の実施状	況と実績				
	診療状			昨年の				ホー	ムページへ	の掲載状況
対象疾患	況 (診療 可・ 診療 可・ 可)	治療内容	現在の実施 状況 ※令和6年 4月時点 (実施第) 実施)	実績 ※令和5 年1月1 日~令 和5年12	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数		治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専門分野等の掲載(はい・いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
		手術	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
性腺外 胚細胞 腫		集学的治療	未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日~令和5年12月31	例:性腺外胚	E細胞腫						
		日) ※治療実績ありの疾患名を右記の 欄に記載してください								
		手術	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
GIST		化学療法	実施可	あり	外科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
(Gastroin testinal		放射線療法	実施可	なし	放射線科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
Stromal Tumor:		集学的治療	実施可		外科					
消化管間質腫瘍)		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日~令和5年12月31 日) ※治療実績ありの疾患名を右記の 欄に記載してください	例:GIST GIST							
		手術								
		化学療法								
その他		放射線療法								
疾患名:		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日~令和5年12月31 日) ※治療実績ありの疾患名を右記の 欄に記載してください								
		手術								
		化学療法								
その他		放射線療法								
疾患名:		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日~令和5年12月31 日) ※治療実績ありの疾患名を右記の 欄に記載してください								
		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
その他 疾患名:		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日~令和5年12月31								
		日) ※治療実績ありの疾患名を右記の 欄に記載してください								

# 院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 令和6年1月1日~2月28日

病院名	社会福祉法人	恩賜財団	済生会西条病院
パス整備数		30	
パス適応数		41	

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適 応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	令和3年12月13日
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	令和4年8月7日
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除パス	6	令和5年3月1日
1	胃がん	手術療法	胃全摘術	0	令和5年8月1日
2	胃がん	手術療法	胃切除術	3	令和5年8月1日
3	大腸がん	手術療法	大腸切除術	3	令和3年4月26日
4	大腸がん	手術療法	人工肛門造設術(緊急)	0	令和5年2月18日
5	大腸がん	手術療法	人工肛門造設術(予定)	0	令和5年2月18日
6	大腸がん	化学療法	m-FOLFOX6	1	令和5年12月4日
7	大腸がん	化学療法	FOLFIRI	0	令和4年5月23日
8	大腸がん	化学療法	アバスチンベバシズマブ	0	令和4年5月23日
9	大腸がん	化学療法	ベクティビックスユニットパス	0	令和4年5月23日
10	大腸がん	その他	大腸内視鏡(大腸カメラ)	0	令和5年9月25日
11	大腸がん	その他	注腸透視(マグコロール使用)	0	令和3年10月25日
12	肝がん	手術療法	肝切除術	0	令和5年8月1日
13	肝がん	手術療法	肝動脈塞栓術(TAE)	6	令和4年6月27日
14	肝がん	その他	エコー下肝生検	0	令和6年6月6日
15	肝がん	手術療法	ラジオ波凝固壊死療法(RFA)	10	令和6年6月6日
16	乳がん	その他	リハ用 乳癌術後	3	令和5年8月1日
17	乳がん	手術療法	乳房切除術	3	令和6年8月1日
18	乳がん	化学療法	テセントリク+アバスチン療法	1	令和5年12月4日
19	肺がん	手術療法	肺切除術	1	令和5年8月1日
20	肺がん	化学療法	アービタックスユニットパス	0	令和5年12月4日
21	甲状腺がん	手術療法	甲状腺切除術	0	令和5年8月1日
22	甲状腺がん	手術療法	副甲状腺摘出術	0	令和5年8月1日

23	十二指腸・小腸がん	手術療法	小腸切除術	0	令和5年8月1日
24	前立腺がん	その他	前立腺バイオプシー	2	令和5年12月4日
25	膀胱がん	その他	TUR-BT	0	令和3年9月27日
26	胆道がん	手術療法	胆嚢摘出術	0	令和5年8月1日
27	血液腫瘍	化学療法	悪性リンパ腫R-CHOP21日	0	令和5年12月4日
28	その他	化学療法	EC療法	0	令和5年12月4日
29	その他	化学療法	Weeklyパクリタキセル	0	令和5年12月4日
30	その他	その他	造影CT(3D-CT冠動脈を除く)	8	令和2年10月1日

# 化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 令和5年11月1日~令和6年3月31日

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

名称	構成メンバー(◎:委員長)	備考
(例)レジメン管理委員会	<ul><li>◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長</li></ul>	
化学療法委員会	◎副院長、泌尿器科部長、内科医長、医療安全管理者、薬剤師、病棟看 護師、外来化学療法室看護師、管理栄養士、医事課	

開催実績(開催日)	委員会名称	承認レジメン数
例:4月10日	レジメン管理委員会	5
11月20日	化学療法委員会	5
3月18日	化学療法委員会	1

## 化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 令和6年4月1日時点 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	職種	診療科 (医師のみ記 載)	常勤 /非常勤	専従/専任 /兼任	化学療 法の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例)	医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	医師	外科	常勤	専任	38	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年) 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医(2011 年) 日本臨床腫瘍学会(暫定)指導医(2005年)
2	薬剤師		常勤	専任	19	日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師(2022 年)
3	看護師		常勤	専従	14	愛媛県がん看護実践に強い看護師育成研修会終了 (2018年) ELNEC-J コアカリキュラム 修了(2018年) 愛媛県緩和ケア研修会 修了(2019年)
4	医師	内科	常勤	専任	45	日本消化器病学会認定専門医(2007年) 日本消化器内視鏡学会認定専門医(2007年) 日本肝臓学会認定肝臓専門医(2011年)
5	医師	外科	常勤	専任	32	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2009年) 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医(2008年) 年) 日本臨床腫瘍学会暫定指導医(2008年)
6	医師	泌尿器科	常勤	専任	31	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医(2003年) 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医(2008年)
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

#### 放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

期間 令和6年4月1日時点 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	放射線治療科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	医師	放射線科	非常勤	専従	17	日本放射線学会治療専門医(2015年)
2	医師	放射線科	非常勤	専従	11	日本放射線学会治療専門医(2018年)
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任: 当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専徒: 当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

## 集学的治療の提供にあたって放射線療法を 他の医療機関との連携によって対応できる体制

令和5年1月から12月について記載(延べ数ではなく実数を記載すること。)

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院名 院

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇一〇一〇	35人
1		なし	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

#### 緩和ケアチームの組織・体制

期間 令和6年4月1日時点 病院名 社会福祉法人 恩赐財団 済生会西条病院

#### 病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図 済生会西条病院 委員会·会議名 委員長·議長 日程 委員会·会議等組織図 医局会 院長 第2水曜日 看護師長会 看護部長 毎週火曜日 事務部会 事務長 第1.3金曜日 経営管理 事業計画推進検討委員会 院長 年4回 機種選定委員会 センター相談役 随時 在院日数調整検討委員会 院長 棚卸実施委員会 院長 3月・9月・随時 罰則委員会 センター相談役 随時 無料低額診療事業推進委員会 院長 連絡協議会終了後 臨床研修センター委員会 センター相談役 医局会終了後 教育 教育·研修委員会 副院長 第3月曜日 図書管理委員会 放射線科部長 2ケ月に1回木曜日 院長 第3月曜日 院内感染対策委員会 医療安全対策委員会 院長 第3月曜日 医療安全管理委員会 副院長 第2水曜日 第4月曜日 安全衛生委員会 院長 安全管理 放射線安全委員会 年1回(5月第3木曜日 院長 医療ガス・医療機器安全管理委員会 副院長 第3月曜日 第1月曜日 医療廃棄物管理委員会 副院長 災害医療·防災対策委員会 院長 第4金曜日 診療担当者会議 院長 第3月曜日 地域医療・連携・福祉総合支援室検討会 センター顧問 第3木曜日 地域医療連携委員会(病診連携) センター相談役 第3木曜日 薬事審議委員会 院長 毎月1回 治験薬審議委員会 院長 随時 倫理委員会 センター相談役 奇数月 内科部長 年6回(偶数月第3月曜日) 輸血療法委員会 管理者会議 保険請求検討委員会 院長 第3月曜日 臨床検査適正化委員会 内科医長 年6回(奇数月第4月曜日) 診療 ICT委員会 副院長 第1月曜日 副院長 第1月曜日 NST委員会 連絡協議会 副院長 第1月曜日 褥瘡対策委員会 第4月曜日 クリニカルパス委員会 副院長 手術室運営委員会 随時 副院長 ハイケアユニット治療室(HCU)運営委員会 副院長 毎週月曜日 栄養委員会 副院長 第3月曜日 化学療法委員会 院長 2ケ月に1回 第4月曜日 生活習慣病療養指導検討委員会 内科部長 DPC(コーディング)委員会 第3月曜日 統括内科部長 緩和ケアチーム委員会 センター相談役 年6回(偶数月第1月曜) 病院勤務等の負担軽減検討委員会 院長 年2回 副院長 第4火曜日 医療情報管理委員会 情報管理 診療録管理委員会 副院長 隔月第3月曜日 診療録監査委員会 隔月第3月曜日 副院長 第3月曜日 業務改善委員会 副院長 福利厚生委員会 副院長 第3水曜日 病院機能評価受審準備委員会 院長 第3月曜日·随時 患者・職員サービス 年報編集委員会 院長 年2回 ホームページ委員会 院長 広報委員会 副院長 接遇改善委員会 センター相談役 第3木曜日

#### 緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 令和6年4月1日時点 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

# 外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 令和6年4月1日時点 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

外	米 診	祭兆	当医	衣 2024.	4.1~			生会西条病 197) 55 - 51
	<ul> <li>要付開始は年</li> </ul>	前8時から、	午後は正午からです	<ul><li>・診療時間は特に</li></ul>	記載のないものは、	午前9時から正午#		
	診療科・		A	火	水	木	金	±(m1·m3)
					上甲	圏田	ŀΨ	野上■(愛)
本			上甲	岡田	大森	鳥巣	大森	±7上■(変/
館		午前	鳥巣	大森	鳥巣	山上	会子由o	鳥巣
	۱ ـــ	1 09	升田碧	山上	/////////////////////////////////////	金子由の	五丁田 0	荷米
1	内		首藤	升田碧	小西★(愛大)	五丁田〇	□/#×	山上
階						mm		шТ
	科		上甲	岡田	鳥巣	岡田	上甲	
新	1-4	午 後	鳥巣	沼田	首藤	首藤	_	
築				ACT LANGE		***	山上	
_		※午後の受付	金子由o	担当医 内科 *血液内科·羅	小西★(變大) 原病内科 o體尿病	鎌田◆	1-第3木曜日 午後(予	th to company
	<u></u>	※干燥の無円	HRIDINGS C	NAME ATTRIBUTE OF	SEMPSH CORRESPOND	rrak ♥XIIIY99 %	1.第3小樓口 干板 (7)	#3-#83((0)/3009)
		午前	越智 (第1・3・5)	越智	越智	越智	越智	担当医(量)
本	眼科	<del>+</del> 89	松本 (第2・4)	松本	松本	松本	松本	担当医(麦
館			98	月・水の受付は11時	までになります ※4	- 接は手術・検査のため	体験です	
		午前	高田	高田	高田	伊勢田(第2・4)※4	高田	高田
2	泌尿器科					高田 (第1・3・5)		1-07-
階		※午後	ま手術・検査のため体験:	です。意思に関してはお	間い合わせください ※	4 伊勢田医師の影響度	付は、午前11時までと	させていただきます
	皮膚科	午前	白石(愛大)	※皮膚科	の受付は月曜日、	土曜日ともに11:	00までです	白石(愛大
新			浜川	浜川	浜川	浜川	浜川	浜川
無	歯科	午前	村瀬	村瀬	村瀬	村瀬	村瀬	村瀬
	口腔外科		田中	田中	田中	田中	田中	田中
		※初	8の方の受付は10:30	のまでです 原則紹介も	大が必要です ※午	後は外来小外科手術	および周術期口腔ケアと	となっております
	診療科・	時間帯	月	火	水	木	金	土(第1-第3
В			升田智	石井※2	常光 (第1週)	石井※2	小橋	山田
館		午前	лше	11 <del>71</del> × 2	小橋 (第2.4週)	117T × 2	ושורי ני	щщ
1	外科	1 09	杉本	小橋	石井 (第3.5週)	升田智	升田 (第1.3週)	
階			42年	73 4100	杉本	开山曾	杉本 (第2.4.5週)	
2	1-4		手術のため休診です				楳田(愛大)	
今ま			副院長の診察は、初診 間の診察は変更の場合			(feath	(第2.3.4 午前) ※受付は11時まで	
₹.			I			1		
と同	整	午前	相澤	萬代	萬代	相澤	相澤	担当医
C	形		萬代	相澤	相澤	萬代	萬代	
腺療	外	午 後			I Marrie II File	かため休診です 問い合わせください		
場	科			※受付は11時までに		診察は10時以降と	なります	
所で			545.—		340 <b>—</b>		國枝(愛大)	4-
<u>\$</u>	脳外科	午前	浦元	浦元	浦元	浦元	MYX(変大)   ※受付は11時まで	浦元
						してはお問い合わせくだ		
					★外科系の午後	多窓につきましては	、お気話にてお問い	合わせください
_	95	午前	金子仲	金子仲	鈴木純 (愛大)	川上 (愛大)	金子仲	
南塘	循環					金子仲☆※1		
棟	58 88	午後	金子伸☆※1		鈴木純 (愛大)	川上 (愛大)	(検査・処置)	
1						末田 ※2		
階	内科		の受付は11時まで、午			毎週月·木 15時~ 予		
	174		障器内科 金子伊吾6 :田医師の診察は、168			か方のみとさせていただき 異日は受付にてご確認		
ÎB	ペイン	午前						
館	クリニック	T 89	E 14.			長橹◆		
の 概	外科	午後	長槽◇ (第2·第4)	長櫓◆	_\\$BB\$n	ケア外来(予約制)	◆ペインクリニック外	(和 (平約期)
7		生物		+%				
\$	放射線科	午前午後	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷
	(UKST) WKT*	午後(治療)	人甘	上津(愛大)	八台	河内(愛大)	八廿	
			隔週 水曜日 (多		せていただきます)	/51/15(東大)		
	神経内科1	COLUMN TO: DOG					2、4、5 土曜	

#### 緩和ケアチームに対する新規診療症例

期間 令和6年1月1日~2月28日 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院 総数 12

- 注1)診療回数は、緩和ケアチームによる診療が診療録に記載されたもののみとすること。 注2)緩和ケア病棟に入院している期間の診療は除くこと。
- 注3)記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	外来/ 入院		主診療科	診療 依頼日	依頼者の 所属 自施設/ 他施設 /その他	診療依頼者	診療依頼内容	診療開始日	診療 終了日	診療回数	診療内容
(例)	外来	肺がん	呼吸器内科	2月1日	他施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	2月5日	継続中	8	疼痛コントロール、カウンセリング
1	入院	肺がん	外科	1月22日	自施設	看護師	体動時の呼吸苦	12月22 日	1月22日	1	デスカンファレンス
2	入院	右頬粘膜がん	外科	1月22日	自施設	看護師	呼吸苦、倦怠感	10月24 日	1月27日	1	症状コントロール
3	入院	横行結腸がん	外科	1月22日	自施設	看護師	倦怠感、間欠熱	12月11 日	1月25日	3	症状コントロール
4	入院	進行胃がん	外科	1月22日	自施設	医師	倦怠感、傾眠傾向	8月28日	1月5日	5	デスカンファレンス
5	入院	進行胃がん	外科	1月22日	自施設	医師	せん妄	10月19 日	1月3日	4	症状コントロール、デスカンファレンス
6	入院	虫垂がん	外科	1月22日	自施設	医師	体動時の息切れ	1月16日	3月7日	2	症状コントロール
7	入院	肝細胞がん	内科	1月22日	自施設	看護師	黄疸、倦怠感	11月27 日	1月4日	1	デスカンファレンス
8	入院	肺がん	内科	1月22日	自施設	看護師	呼吸苦	1月3日	1月7日	1	デスカンファレンス
9	外来	膵頭部がん	内科	1月22日	自施設	医師	全身倦怠感、食欲不振	1月15日	1月17日	1	在宅緩和ケア推進モデル事業 在宅調整
10	外来	膵がん、肝転 移	緩和ケア科	1月22日	自施設	医師	全身倦怠感	1月22日	2月8日	1	緩和ケア病棟への転院調整
11	入院	S状結腸がん	外科	2月26日	自施設	看護師	経口摂取不良、ADL低下	11月9日	2月18日	1	症状コントロール
12	入院	右側舌がん	歯科口腔外科	2月26日	自施設	看護師	右後頚部痛	2月8日	2月24日	1	疼痛コントロール

## 緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

期間 令和6年1月1日~2月28日 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

2ヶ月分の総数

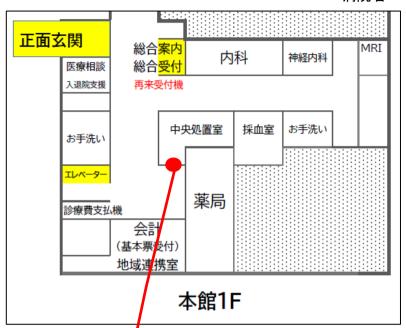
2

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	2月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍 内科医、放射線治療医、放射線診 断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、 ソーシャルワーカー
1	1月22日	60	10	15	外科 内科	緩和ケア科	西条医療福祉センター相談役、外 科医、内科医、研修医、看護師、 OT
2	2月26日	60	8	13	外科 内科 緩和ケア科		西条医療福祉センター相談役、外 科医、内科医、研修医、看護師、 OT
3							
4							
5							
6							
7							

## 緩和ケアに関する広報

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院







### 緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する 身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、 看護師(\*)の専門性

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

		:		:	ם שפוניות	
	チームでの役割	診療科(医師のみ 記載)	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任		専門医等資格
(例)	身体症状の緩和 に携わる医師	麻酔科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	精神症状の緩和 に携わる医師	神経内科	非常勤	兼任	24	精神保健指定医
2	身体症状の緩和 に携わる医師	ペインクリニック外 科	常勤	専任	50	日本緩和医療学会暫定指導医(2010年) 日本麻酔科学会指導医(2015年) 日本麻酔科学会専門医(2015年) 日本ペインクリニック学会専門医(2010年)
3	身体症状の緩和 に携わる医師	外科	常勤	専任	32	日本外科学会認定外科専門医(2017年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2009年)
4	身体症状の緩和 に携わる医師	内科	常勤	専任	24	日本内科学会認定内科医(2017年) 日本消化器病学会専門医(2007年) 日本肝臓学会専門医(2021年)
5	身体症状の緩和 に携わる医師	歯科口腔外科	常勤	専任	16	日本口腔外科学会認定医(2012年)
6	身体症状の緩和 に携わる医師	外科	常勤	専任	13	日本外科学会外科専門医(2017年)
7						
8						
9						
10						
11						
12				<u> </u>		
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

\*緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

## 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	病理診断科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	医師	病理診断科	常勤	専従	43	日本病理学会病理専門医(1981年)
2	医師					
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任: 当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専徒: 当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

## 病理診断について他の医療機関からの協力によって対応できる体制

令和5年1月から令和5年12月について記載 病院名 恩賜財団 済生会西条病院

	病理診断について協力をうける医療 機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇一〇一〇	35人
1	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川454番地	63
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

<sup>※</sup>自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

## 地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

令和6年1~2月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの 受け入れ件数	他医療機関への 紹介件数
(例)	25	80	90
	193	608	497

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	かりやま整形外科	36	35
2	村上記念病院	30	18
3	西条中央病院	29	22
4	堀江歯科医院	20	14
5	伊藤医院	20	15
6	愛媛大学医学部附属病院	19	33
7	西条市立周桑病院	17	6
8	松本整形外科医院	15	5
9	渡部病院	13	8
10	なないろ歯科クリニック	13	11
11	西条市民病院	13	12
12	飯尾皮フ科泌尿器科	12	4
13	サンデンタルクリニック	11	6
14	若原歯科クリニック	9	3
15	やまもと眼科クリニック	9	3
16	土岐医院	9	5
17	住友別子病院	9	14
18	いしづちやまクリニック	9	5
19	老人保健施設ゆるぎ荘	8	3
20	済生会今治病院	8	10
21	たちばな歯科医院	7	8
22	じょうとく内科クリニック	7	4
23	西条愛寿会病院	7	12
24	和田内科皮膚科	6	2
25	山元眼科	6	2
26	西条道前病院	6	7
27	おち歯科医院	6	7

28	いわね歯科医院	6	6
29	横山病院	5	9
30	山川リンタロー歯科診療所	5	5
31	森山内科	5	2
32	まなべ矯正歯科	5	1
33	藤岡歯科	5	4
34	西条市休日夜間急患センター	5	0
35	愛媛県立新居浜病院	5	6
36	松田循環器科内科	4	5
37	星加小児科内科ファミリークリニック	4	1
	平田クリニック	4	5
	近藤クリニック	4	2
-	浦部医院内科•皮膚科	4	1
	今井クリニック整形外科	4	4
	石川歯科	4	3
	赤瀬歯科医院	4	3
	みやざきメンタルクリニック	3	4
	福田医院	3	1
	林歯科クリニック	3	0
	林歯科医院	3	4
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3	3
	東予歯科	3	4
	<u> </u>	3	0
	丹歯科医院	3	1
	たかはし歯科	3	3
	十全総合病院	3	4
	篠原内科外科耳鼻科	3	0
	四国中央病院	3	3
	四国がんセンター	3	7
57	こまつ医院	3	2
58	公立みつき総合病院(広島県)	3	0
59	小泉歯科医院	3	1
	共立病院	3	7
61	唐子歯科医院	3	3
62	カナザキ歯科 回生堂医院	3	<u> </u>
	<u>四年室医院</u> 愛媛労災病院	3	<u> </u>
	<u>愛媛万炎病院</u> 井出歯科医院	3	0
66	ガロ困科医院 あおのクリニック	3	1
67	よしもと歯科	2	2
	行本歯科医院	2	1
	山﨑歯科医院	2	2
	もりざね耳鼻咽喉科	2	1

71	가 나를 나면된 신나는 선	0	
	みやもと眼科クリニック	2	0
	みどり歯科医院	2	2
	真鍋医院	2	2
	松原歯科医院	2	3
	まき歯科	2	0
	前野整形外科	2	0
77	弁財天耳鼻咽喉科クリニック	2	1
	ふじた歯科クリニック	2	1
	にいぼり歯科	2	0
80	としもり内科医院	2	0
	たからだ歯科クリニック	2	0
82	桜井眼科	2	0
83	さかもと歯科医院	2	2
84	さかた歯科診療所	2	1
85	近藤歯科医院	2	1
86	きぬぼし歯科	2	1
87	愛媛県立中央病院	2	8
88	いしづち歯科医院	2	2
	渡辺歯科医院	1	0
	老人保健施設リハクリネ	1	1
	老人保健施設まなべ	1	1
	米田脳神経外科	1	1
	よつば循環器クリニック	1	0
	古本歯科	1	0
	山本歯科医院	1	0
	山口クリニック	1	1
	<u>ロロフリーファー</u> 矢原歯科医院	1	1
	大原图代区院 矢野外科胃腸科医院	1	0
	<u>大野外科自肠科医院</u> 宮内消化器内科	1	1
	<u> 宮内月に部内科</u> 南松山病院	1	·
		<u> </u>	0
	三木内科クリニック	1	0 2
	まゆみ歯科クリニック	1	
	まつまえ歯科医院	<u> </u>	0
	松永耳鼻咽喉科医院	<u> </u>	1
	ふじた矯正歯科クリニック	1	1
	藤沢歯科		1
107	ひかり歯科医院		0
	はやし外科クリニック	1	0
	羽倉歯科医院	1	1
110	はかた外科胃腸科	1	0
	野間歯科医院	1	1
112	能智歯科医院	1	1
113	脳神経センター大田記念病院(広島)	1	0
114	二宮矯正歯科医院	1	0
115	西原歯科医院	1	0
116	中西歯科矯正歯科	1	1
	徳永歯科	1	1
	ときわ歯科医院	1	1
	土浦協同病院(茨城)	1	0
	月岡歯科医院	1	0
	千船病院(大阪)	1	0
122	たに脳神経外科内科ものわすれクリニック	1	1
123	立花病院	1	1
	たちばな歯科(今治)	1	0
	高津診療所	1	0
	瀬戸内海病院	1	0
	住友化学菊本診療所	1	0
	心臓病センター榊原病院	1	2
129	城東歯科医院	1	1
		·	· ·

130	市立宇和島病院	1	0
	しらかた皮フ科クリニック	<u> </u>	0
	坂根医院	<u>'</u> 1	0
	済生会茨木病院	1	0
	西条刑務支所	1	1
		1	•
	こんどう心療内科	<u> </u>	0
136	小林耳鼻咽喉科クリニック		1
137	こころ歯科医院		0
138	具共済病院 	1	0
139	久米歯科医院	1	0
140	くにのぶ歯科クリニック	1	0
	茎田医院	1	1
	吉峯耳鼻科歯科	1	0
	<b>亀川歯科</b>	1	0
	かねこ整形外科アスリートリハビリテーションクリニ	1	0
	親里矯正歯科クリニック(兵庫県)	1	0
146	小瀬田みんなの診療所(鹿児島)	1	0
147	奥島病院	1	0
148	大牟禮矯正歯科	1	1
	大谷歯科医院	1	1
	大内歯科医院	1	0
	受媛県立今治病院	i	1
	馬越歯科医院	1	1
	伊藤歯科クリニック	1	0
	いしづち眼科	<u> </u>	1
	あらき歯科	1	0
	青野歯科医院	1	1
	渡辺病院	0	1
	横浜みなと赤十字病院	0	1
	<u>徴供のなどが下子病院</u> 美須賀病院	0	1
		0	1
	まどんな病院		1
101	松山リハビリテーション病院	0	
	松山赤十字病院	0	5
	松山市民病院	0	1
	松木歯科医院	0	1
165	藤井病院	0	1
166	ひらた耳鼻咽喉科	0	1
167	中萩診療所	0	4
	とのやまクリニック	0	1
	道後温泉病院	0	1
	田中内科	0	1
	鷹の子病院	0	2
172	正光会今治病院	0	1
	古味歯科医院	0	3
174	黒田医院	0	1
175	グループホーム緑の家	0	1
176	倉敷成人病センター	0	1
177	共栄歯科医院	0	1
178	川原眼科	0	1
179	刈谷豊田総合病院	0	1
	<b>亀天会診療所</b>	0	2
	かざはやクリニック	0	1
	おの歯科医院	0	1
183	小澤歯科医院	0	2
	岡山大学病院	0	1
	大久保内科クリニック	0	1
	受媛医療センター	0	2
	実験となってリー 浦岡胃腸クリニック	0	1
			•
	伊予病院	0	1

189 今治光生病院	0	1
190 今治第一病院	0	1
191 井上会篠栗病院	0	1
192 石川クリニック(四国中央市)	0	1
193 あぜち内科	0	1

### 地域の医療機関の医師と相互の診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

令和5年11月~令和6年3月の間に実施したもの 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
(例1)	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏 内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急 変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	12月7日	2時間	〇〇〇地域脈がん診療連携連絡部会	肺がん診療を 行っている二 次医療圏内 医療機関		20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスに ついて
1	11月18日	2.5時間	第24回地域医療連携ネットワーク研究会	医療·福祉·行 政·教育機関関 係者	WEB	1	社会的処方から学ぶ地域連携のしくみづくり
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

## 地域連携クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 令和6年1月1日~2月28日 病院名 社会福祉法人 恩賜財 ଗ 済生会西条病院

パス整備数	7
登録医療機関数	421
パス適応数	0

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録して いる医療 機関数	適応の患 者数	最終更新 日
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療なし)	40	15	2023/4/5
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療あり)	5	1	2024/2/1
1	胃がん	胃癌stage1	421	0	2012/3/11
2	肝がん	肝がん連携パス	421	0	2012/3/11
3	乳がん	乳がん術後連携パス	421	0	2012/3/11
4	大腸がん	大腸癌術後連携パス	421	0	2012/3/11
5	前立腺がん	前立腺癌(内分泌療法前立腺全摘出術)	421	0	2012/3/11
6	子宮がん	子宮体がん術後 共同診療計画書	421	0	2012/3/11
7	卵巣がん	卵巣がん術後 共同診療計画書	421	0	2012/3/11
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制

期間 令和6年4月1日時点 病院 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病 院

<b>■</b> ホ	■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容							
1	1 セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している いいえ							
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している							
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	いいえ						
4	4 セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している							
5	上記の内容を掲載しているページのURL							

5大がん	セカンドオピニ オンの対応状況 セカンドオピニ オンの実績 ※令和5年1月		セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください			
	(対応可·対応 不可)	1日から令和5 年12月31日 (あり・なし)	所属診療科	診療科別の 人数	専門分野	
(例) 肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	_	肺がん胸腔鏡手術	
肺がん	対応可	なし	内科外科	6 4	一般内科 一般外科	
胃がん	対応可	なし	内科外科		消化器内科消化器外科	
大腸がん	対応可	なし	内科外科		消化器内科消化器外科	
肝がん	対応可	あり	内科外科		消化器内科消化器外科	
乳がん	対応可	なし	外科	4	一般外科	

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況	セカンドオピニ オンの実績 ※令和5年1月	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください			
	(対応可・対応 不可)	1日から令和5 年12月31日 (あり・なし)	所属診療科	診療科別の 人数	専門分野	
脳腫瘍	対応可	なし	脳神経外科	1		
脊髄腫瘍	対応不可					
眼、眼窩腫瘍	対応不可					
頭頸部がん	対応可	なし	歯科口腔外科 外科 内科	3 4 7	<ul><li>口腔外科</li><li>一般外科</li><li>一般内科</li></ul>	
甲状腺がん	対応可	なし	内科	7	一般外科	
食道がん	対応可	なし	内科外科		消化器内科消化器外科	
縦隔腫瘍	対応可	なし	内科外科	7	消化器内科消化器外科	
中皮腫	対応可	なし	内科外科	7	消化器内科消化器外科	
膵がん	対応可	なし	内科外科		消化器内科消化器外科	
胆道がん	対応可	なし	内科外科	7	消化器内科消化器外科	
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	内科外科	7	消化器内科 消化器外科	
腎がん	対応可	なし	泌尿器科	1	腎尿管腫瘍	
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科	1	腎尿管腫瘍	
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科	1	腎尿管腫瘍	

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況	セカンドオピニ オンの実績 ※令和5年1月		ニオンを担当する医師		
5/18-70 56/7F0718-70	(対応可・対応 (対応可・対応 不可) (対応・対応 (あり・なし)		所属診療科	診療科別の 人数	専門分野	
副腎腫瘍	対応可	なし	泌尿器科	1	腎尿管腫瘍	
前立腺がん	対応可	なし	泌尿器科	1	前立腺がん	
精巣がん	対応可	なし	泌尿器科	1	精巣腫瘍	
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器科	
子宮がん	対応可	なし	外科	5	一般外科	
卵巣がん	対応可	なし	外科	5	一般外科	
その他の女性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	1	泌尿器科	
皮膚腫瘍	対応可	なし	外科	5	一般外科	
悪性骨軟部腫瘍	対応不可					
血液腫瘍	対応可	なし	内科外科	12	血液内科 一般内科 一般外科	
小児固形腫瘍	対応不可					
小児血液腫瘍	対応不可					
原発不明がん	対応可	なし	外科	5	一般外科	
性腺外胚細胞腫瘍	対応可	なし	泌尿器科	5	泌尿器科	

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況	セカンドオピニ オンの実績 ※令和5年1月	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください			
	(対応可·対応 不可)	1日から令和5 年12月31日 (あり・なし)	所属診療科	診療科別の 人数	専門分野	
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間 質腫瘍)	対応可	なし	外科	5	消化器外科	
口腔がん	対応可	なし	歯科口腔外科	3	口腔外科	
疾患名:						
疾患名:						

	セカンドオピニ オンの対応状況		セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください			
各治療	(対応可・対応 不可)	※令和5年1月 1日から令和5 年12月31日 (あり・なし)	所属診療科	診療科別の 人数	専門分野	
化学療法	対応可	なし	内科 外科 泌尿器科 脳神経外科	7 5 1 1	消化器 呼吸器 内分泌 乳腺 血液腫瘍	
放射線療法	対応可	なし	内科 外科 泌尿器科 脳神経外科	7 5 1 1	対外照射	
緩和ケア	対応可	なし	内科 外科 泌尿器科 脳神経外科	7 5 1 1	緩和ケア	

## セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 令和6年4月1日現在 病院名 社会福祉法人 恩赐財団 済生会西条病院

実施方法	セカンドイオピニオン外来で対応	(一般外来で対応、セカ ンドオピニオン外来で対 応、その他)
その他の場合		
セカンドオピニンの問い合わせ先	と申し込み方法	
窓口名	医事課 地域医療連携室係	
電話番号	0897-55-9920	
FAX番号	0897-55-1660	
e-mail	chiiki@saiseikaisaijo.jp	
対応時間	月曜日~金曜日8:30~17:00、第1,3土曜日8:30~12:30	
必要な紹介状・資料が揃わない 場合の対応	受付不可	(受付不可、初診として 診療科外来へ紹介、そ の他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以 外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	60分まで 8800 円	
超過料金	分につき 円	
その他の料金(詳細と金額)		
相談時間の制限	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		分

## がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 令和5年11月1日~令和6年3月31日 病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院 件数

	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾 患名	活動内容	相談支援 窓口職員 の関与の 有無
(例)	乳がん勉強会	年1回 12月第2月 曜	相談支援センター	乳がん患者・乳が ん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例)	患者サロン	毎週木曜日 9-17 時	病院1階受付横の 部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供してい る	なし
1	なし					
2						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(別紙24)

### 拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

令和5年6月~6年3月の間に実施されたもの

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間		開催場所		参加/協力 人数(人)	內谷
(例)	参加済	6月5日		〇〇病院天施 かんお旅に携わる医師に対する緩和ケア研修	〇〇病院	講義+ワークショッ プ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したも の
(例)	協力済	8月3日	2日間	大阪〇〇緩和ケア研修会	〇〇病院	ァ 講義+ワークショッ プ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの 〇〇の講義に自院の医師が講師として協力
1	参加済	10月27日	1時間15分	四国がんセンター WEB	四国がん センター	講義	2	がん患者と家族が今を生きるための力を支える
2	参加済	10月6日	1時間30分	四国がんセンター WEB	四国がん センター	講義	1	愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセミナー
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

<sup>※</sup>参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。 ※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

## 拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況

令和5年6月~6年3月の間に実施されたもの

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	協力済	6月12日	2時間		二次医療圏内医 師	XX病院 会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がん胃X線画像読影の ポイントに関する研修へ講師として派遣
(例)	参加済	8月11日	1時間	00セミナー	師·看護師	: )元	講義	4	〇〇についてのセミナーを受講
1	参加済	9月7日	30分	第1回愛媛県病理診断向 上セミナー		佐山巾氏 病院WE		2	GIST診療ガイドライン改訂のポイント
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

<sup>※</sup>参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

### 拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の 医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況

令和5年6月~6年3月の間に実施されたもの

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数 (人)	内容
(例)	8月20日	2時間	○○病院実施 ××地域肺がん合 同カンファレンス	二次医療圏内医療 従事者	△△病院会 議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅 医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退 院前カンファレンス」の開催のポイント
1	8月5日	1時間	四国がんセンター第1回専門部会 報 告会	愛媛県がん診療連携 部会員	四国がんセン ター研修室 (Web参加)	2	役員会及び各専門部会からの報告
2	6月20日	2時間	第1回がん登録専門部会	拠点・推進病院がん登 録実務者	四国がんセン ター(Web参 加)	1	がん登録に関わるスタッフの現状報告と意見交換
3	1月22日	2時間	第2回がん登録専門部会	拠点・推進病院がん登 録実務者	四国がんセン ター(Web参 加)	2	がん登録に関わるスタッフの現状報告と意見交換
4	2月3日	2時間	四国がんセンター第2回専門部会 報 告会	愛媛県がん診療連携 部会員	四国がんセン ター研修室 (Web参加)	2	役員会及び各専門部会からの報告
5	8月24日	30分	地域連携交流会(住友別紙病院主催)	近隣の医療機関	リーガロイヤ ル新居浜	3	王子クリニカルカンファレンス
6							
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

# 相談支援窓口の相談対応状況

期間 令和6年4月1日現在 病院名 社会福祉法人 恩赐財団 済生会西条病院

		=
相談支援窓口の名称	社会福祉課 医療福祉相談窓口	
相談支援窓口の電話番号		
問い合わせ先電話番号	0897-55-5392	
電話相談の電話番号		上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口		例:医療連携室
相談支援窓口の対応曜日と対応時	間	
対応曜日と対応時間	月~金曜日 8:30~17:00 第1、3土曜日 8:30~12:30	
対面相談の 対応曜日と対応時間	月~金曜日 8:30~17:00 第1、3土曜日 8:30~12:30	上記の対応時間内で対 面相談の時間設定があ る場合のみ記入してくだ さい
電話相談の 対応曜日と対応時間	月~金曜日 8:30~17:00 第1、3土曜日 8:30~12:30	上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	必要	(必要、不要)
時間制限の有無	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		
電話相談の実施	実施	(実施、未実施)
	必要	· (必要、不要)
時間制限の有無	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		
 FAX相談の実施	未実施	(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号		-
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	未実施	(実施、未実施)
email相談のためのe-mail		
 相談員の職種	医療ソーシャルワーカー、入退院支援看護師	
	なし	(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容 を記載してください		※ピアサポートとは、が んを経験された方やご家 族による支援活動を指し ています
相談者が利用できる資料	がんサポートブックえひめ、家族必携~あなたの大切な 人を支えるために~、他パンフレット	例:図書、雑誌、ビデオ・ DVD、パンフレット、イン ターネット
うち参考図書の冊数(冊)		※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さ んやご家族の利用	不可	(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	なし	(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の 数		

## 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との 連携協力体制構築の取り組みの状況

病院名 社会福祉法人 恩陽財団 済生会西条

	がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口 職員の関与の 有無
(例)	XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1			
2			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

## がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 令和6年4月1日現在 病院名 社会福祉法人 恩陽財団 济生会西条病院

#### 1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

	※17まだは27がはいの場合は、窓口の評価を記入して				
1) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある					
	窓口名	地域医療連携室			
	電話	0897-55-9920			
地域の患者さんや	FAX	0897-55-1660			
ご家族向けの 問い合わせ窓口	電子メール				
HIS THE LINE	受付時間	月~金曜日 8:30~17:00 第1,3土曜日 8:30~12:30			
	ホームページの URL	http://www.saiseikaisaijo.jp			
2)自施設のセカンドオピニンについて、	地域の医療者向け	の問い合わせ窓口がある	はい		
	窓口名	地域医療連携室			
	電話	0897-55-9920			
地域の医療者向けの	FAX	0897-55-1660			
問い合わせ窓口	電子メール				
	受付時間	月~金曜日 8:30~17:00 第1,3土曜日 8:30~12:30			
	ホームページの URL	http://www.saiseikaisaijo.jp			

#### 2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

)緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている はい						
2)自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある						
	窓口名	外来看護部門				
	電話	0897-55-5100				
地域の患者さんや	FAX	0897-55-6766				
ご家族向けの 問い合わせ窓口	電子メール					
HI THE END	受付時間	月~金曜日 8:30~17:00 第1、3土曜日 8:30~12:30				
	ホームページの URL	http://www.saiseikaisaijo.jp				
3)自施設の緩和ケアについて、地域の	医療者向けの問い	合わせ窓口がある	はい			
	窓口名	地域医療連携室				
	電話	0897-55-9920				
地域の医療者向けの	FAX	0897-55-1660				
問い合わせ窓口	電子メール					
	受付時間	月~金曜日 8:30~17:00 第1,3土曜日 8:30~12:30				
	ホームページの URL	http://www.saiseikaisaijo.jp				

3 緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

3.核和グア病株の同い合わせるロ		※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入	してください。		
1)緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている					
)自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある					
	窓口名				
	電話				
地域の患者さんや	FAX				
ご家族向けの   問い合わせ窓口	電子メール				
14,7 14,7 2,8,14	受付時間				
	ホームページの URL				
3) 自施設の緩和ケア病棟について、地	地域の医療者向けの	問い合わせ窓口がある			
	窓口名				
	電話				
地域の医療者向けの	FAX				
問い合わせ窓口	電子メール				
	受付時間				
	ホームページの URL				
.臨床試験・治験の問い合わせ窓口 ※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。					

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してくたと						
1)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している						
	窓口名					
	電話					
地域の患者さんや	FAX					
ご家族向けの 問い合わせ窓口	電子メール					
IN CANCISCI	受付時間					
	ホームページの URL					
2) 自施設で実施している臨床試験・治	験について、地域の	医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している				
	窓口名					
	電話					
地域の医療者向けの	FAX					
問い合わせ窓口	電子メール					
	受付時間					
	ホームページの URL					

### ■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1.ストーマ外来についての問い合わせ	窓口	※3)または4)がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。
1)ストーマ外来がある		
2)ストーマ外来で自施設以外で原疾!	患の診療を受けている	る、または、診療を受けた患者さんを受け入れている
3) 自施設のストーマ外来について、地	域の患者さんやご家	族に向けの問い合わせ窓口がある
	窓口名	
	電話	
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	FAX	
	電子メール	
回り・ロイノと、心口	受付時間	
	ホームページの URL	
4)自施設のストーマ外来について、医	療者向けの問い合わ	つせ窓口がある
	窓口名	
	電話	
地域の医療者向けの	FAX	
問い合わせ窓口	電子メール	
	受付時間	
	ホームページの URL	
2.リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口		※3)または4)がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。
1)リンパ浮腫外来がある		
2)リンパ浮腫外来で自施設以外で原	<b>疾患の診療を受けて</b>	いる、または、診療を受けた患者さんを受け入れている
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、	地域の患者さんやこ	で家族向けの問い合わせ窓口がある
	窓口名	
	電話	
地域の患者さんや	FAX	
ご家族向けの 問い合わせ窓口	電子メール	
問い合わせ窓口	.5	
	受付時間	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、	受付時間 ホームページの URL	の問い合わせ窓口がある
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、	受付時間 ホームページの URL	の問い合わせ窓口がある
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、	受付時間 ホームページの URL 地域の医療者向けの	の問い合わせ窓口がある
	受付時間 ホームページの URL 地域の医療者向けの 窓口名	の問い合わせ窓口がある
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、	受付時間 ホームページの URL 地域の医療者向けの 窓口名 電話	の問い合わせ窓口がある
地域の医療者向けの	受付時間 ホームページの URL 地域の医療者向けの 窓口名 電話 FAX	の問い合わせ窓口がある

### 3.その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してくださ
(1)自施設の		で自施設以外で原理 を受け入れている	失患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん
(2)自施設の		について、患者さん	やご家族向けの問い合わせ窓口がある
		窓口名	
		電話	
	域の患者さんや *ロケロ	FAX	
	『家族向けの い合わせ窓口	電子メール	
		受付時間	
		ホームページの URL	
(3)自施設の		について、医療者向	けの問い合わせ窓口がある
		窓口名	•
		電話	
地域(	の医療者向けの い合わせ窓口	FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページの URL	
2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原想を受け入れている	実患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん 
(1)自施設の (2)自施設の		を受け入れている	失患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん やご家族向けの問い合わせ窓口がある
		を受け入れている	
		を受け入れている について、患者さん	
(2)自施設の	或の患者さんや *マ*ない	を受け入れている について、患者さん 窓口名	
(2)自施設の	<b>載の患者さんや</b> *家族向けの い合わせ窓口	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール	
(2)自施設の	家族向けの	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間	
(2)自施設の	家族向けの	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール	
(2)自施設の	家族向けの	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL	
(2)自施設の 地 <sup>垣</sup> 問(	家族向けの	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL	やご家族向けの問い合わせ窓口がある
(2)自施設の 地 <sup>垣</sup> 問(	家族向けの	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL について、医療者向	やご家族向けの問い合わせ窓口がある
(2)自施設の 地域 問 (3)自施設の	家族向けの	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL について、医療者向 窓口名	やご家族向けの問い合わせ窓口がある
(2)自施設の 地域 (3)自施設の	家族向けのい合わせ窓口	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL について、医療者向 窓口名 電話	やご家族向けの問い合わせ窓口がある
(2)自施設の 地域 問(3)自施設の	ででは、 できます できます できます できます できます できます できます できます	を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL について、医療者向 窓口名 電話 FAX	やご家族向けの問い合わせ窓口がある

3)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してくた ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく	iさい ください
(1)自施設の		で自施設以外で原理 を受け入れている	<b>失患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん</b>	
(2)自施設の		について、患者さん	やご家族向けの問い合わせ窓口がある	
		窓口名		
		電話		
	成の患者さんや	FAX		
	『家族向けの ハ合わせ窓口	電子メール		
		受付時間		
		ホームページの URL		
(3)自施設の		について、医療者向	けの問い合わせ窓口がある	
		窓口名		
		電話		
地域(	の医療者向けの	FAX		
	い合わせ窓口	電子メール		
		受付時間		
		ホームページの URL		
4)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してくた ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく	
4) (1)自施設の				
·		で自施設以外で原想を受け入れている	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入して	
(1)自施設の		で自施設以外で原想を受け入れている	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん	
(1)自施設の		で自施設以外で原想を受け入れているについて、患者さん	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん	
(1)自施設の (2)自施設の 地域	ばの患者さんや	で自施設以外で原理を受け入れているについて、患者さん窓口名	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん	
(1)自施設の(2)自施設の地域	ぱの患者さんや 『家族向けの い合わせ窓口	で自施設以外で原想を受け入れているについて、患者さん窓口名電話	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん	
(1)自施設の(2)自施設の地域	家族向けの	で自施設以外で原来を受け入れている。 について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん	
(1)自施設の(2)自施設の地域	家族向けの	で自施設以外で原来を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん	
(1)自施設の(2)自施設の地域	家族向けの	で自施設以外で原 を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん	
(1)自施設の (2)自施設の 地域 問	家族向けの	で自施設以外で原 を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん やご家族向けの問い合わせ窓口がある	
(1)自施設の (2)自施設の 地域 問	家族向けの	で自施設以外で原 を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん やご家族向けの問い合わせ窓口がある	
(1)自施設の (2)自施設の 地域 問 (3)自施設の	家族向けのい合わせ窓口	で自施設以外で原想を受け入れている。 について、患者さん窓口名電話 FAX電子メール受付時間ホームページのURL について、医療者向窓口名	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん やご家族向けの問い合わせ窓口がある	
(1)自施設の (2)自施設の 地域 (3)自施設の 地域(	家族向けの	で自施設以外で原 を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL について、医療者向 窓口名	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん やご家族向けの問い合わせ窓口がある	
(1)自施設の (2)自施設の 地域 (3)自施設の 地域(	家族向けの い合わせ窓口 の医療者向けの	で自施設以外で原 を受け入れている について、患者さん 窓口名 電話 FAX 電子メール 受付時間 ホームページの URL について、医療者向 窓口名 電話	※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してく 疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さん やご家族向けの問い合わせ窓口がある	

## 院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2016年版修正版

期間 令和6年4月1日現在 病院名 社会福祉法人 恩赐財団 済生会西条病院

自施設で全がんに対して登録している項目に「〇」、全がんでなく 一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を 右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

	項目番号	項目名	登録している項目
基	[900]	病院等の名称	0
本	[100]	診療録番号	0
情	[110]	重複番号	0
報	[120]	カナ氏名	0
	[130]	氏名	0
	[140]	性別	0
	[150]	生年月日	0
n=£	[199]	基本情報《テキスト》	×
腫	[200]	診断時都道府県コード	0
瘍	[210]	診断時住所	0
情報	[220]	診断時郵便番号	0
羊区	[300]	原発部位《局在コード》	0
	[309]	原発部位《テキスト》	0
	[310]	側性	0
	[320]	病理診断《形態コード》	
	[329] [330]	病理診断《テキスト》	0
	[350]	診断根拠 当該腫瘍初診日	0
	[360]	当該腫瘍初診口   他施設診断日	0
	[370]	但他放影断日  自施設診断日	0
	[380]	診断日	0
	[400]	診断施設	0
	[410]	治療施設	0
	[420]	症例区分	0
	[450]	来院経路	0
	[460]	発見経緯	Ö
	[470]	病名の告知の有無	Ö
	[500]	ステージ(治療前・UICC)	Ö
	[510]	TNM分類(UICC)T分類	Ö
	[520]	TNM分類(UICC)N分類	Ō
	[530]	TNM分類(UICC)M分類	0
	[540]	TNM分類(UICC)付加因子	0
	[550]	肝癌の病期(治療前・取扱い規約)	0
	[580]	進展度•治療前	0
	[600]	ステージ(術後病理学的・UICC)	0
	[610]	pTNM分類(UICC)pT分類	0
	[620]	pTNM分類(UICC)pN分類	0
	[630]	pTNM分類(UICC)pM分類	0
	[640]	TNM分類(UICC)p付加因子	Δ
	[680]	進展度 術後病理学的	0
L.	[699]	腫瘍情報《テキスト》	×
初	[700]	外科的治療の有無	0
回治	[701]	外科的治療の施行日(自施設)	0
治	[705]	外科的治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	0
療	[706]	外科的治療(他施設)(自施設初回治療開始後)	0
情	[710]	鏡視下治療の有無	0
報	[711]	鏡視下治療の施行日(自施設)	0
	[715]	鏡視下治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	0
	[716]	鏡視下治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	0
	[720]	内視鏡的治療の有無	0
	[721]	内視鏡的治療の施行日(自施設)	0
	[725]	内視鏡的治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	0

	[726]	内視鏡的治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	0
	[730]	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	0
	[740]	放射線療法の有無	0
	[741]	放射線療法の施行日(自施設)	0
	[745]	放射線療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	0
	[746]	放射線療法(他施設)(自施設初回治療開始後)	0
	[750]	化学療法の有無	0
	[751]	化学療法の施行日(自施設)	0
	[755]	化学療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	0
	[756]	化学療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	0
	[760]	内分泌療法の有無	0
	[761]	内分泌療法の施行日(自施設)	0
	[765]	内分泌療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	0
	[766]	内分泌療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	0
	[770]	その他の治療の有無	0
	[775]	その他の治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	0
	[776]	その他の治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	0
	[780]	経過観察の選択の有無(自施設)	0
	[790]	症状緩和的治療の有無(自施設)	0
	[799]	初回治療情報《テキスト》	Δ
生	[800]	生存最終確認日	0
存	[810]	死亡日	0
状	[820]	生存状況	0
況	[830]	生存確認調査方法	0
情	[840]	全国がん登録情報取得日	0
報	[850]	死因情報(全国がん登録)	0
	[860]	追跡期間	0
	[870]	最新生存確認調査対象日	×
	[880]	最新生存確認調査実施日	×
	[899]	生存状況情報《テキスト》	×
管	[910]	紹介元施設	0
理	[911]	紹介先施設	0
情	[919]	紹介状況《テキスト》	Δ
報	[920]	全国がん登録届出状況	0
	[921]	全国がん登録最新届出日	0
	[922]	全国がん登録届出責任者	0
	[930]	登録日	0
	[931]	登録者	0
<b> </b>	[940]	最新修正日	0
-	[941]	最新修正者	0
-	[950]	最新住所	×
-	[951]	最新郵便番号	×
<b>I</b>	[952]	最新住所更新日	×
I  -	[970]	診療科情報《テキスト》	0
-	[971]	主治医情報《テキスト》	0
-	[989]	管理情報《テキスト》	×
-	[999]	全般情報《テキスト》	
-	[989] [999]	管理情報《テキスト》   全般情報《テキスト》	×
	[ลลล]	土 ハス   目 Ŧ以   丿 イ へ Γ //	×

※ 項目の定義については、国立がん研究センターが提示する 「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年度版 修正版」を参照すること

## 患者・住民を対象としたがんに関する講演会の実施状況

令和5年6月~6年3月の間に実施されたもの

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

	開催日	時間	名称	開催場所	種類	参加 人数	講師	内容
(例)	10月26日	3時間	**病院がん市民講演会	〇〇市民ホール	セミナー	200人	院内1人 院外2人	科学的根拠に基づくがん検診について
1	なし							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

### 地域住民へのメッセージ

病院名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

#### 地域住民へのメッセージ(各項目200字以内)

#### 愛媛県がん診療連携推進病院として

がん拠点病院と連携し、地域における質の高い医療の提供を診断、治療および緩和ケアまで、皆さんの主治医を主体としてシームレスに行います。

#### がん診療に関する当院の特長

診断、治療および緩和ケアの研修を受けた主治医が中心となり、質の高いがん診療を各専門医および緩和ケアに関わる医療従事者全員が協力し合い、地域のがん診療の連携協力体制のもと、専門的ながん診療の提供を行います。また経済的に苦しく、医療費の支払いが困難である方に関しても無料低額診療を行い、医療費が支払えない方にも十分な治療を受けることができるように支援いたします。

#### 相談支援窓口について

療費上の不安や心配事、退院後の生活、医療費の支払い等、様々な問題において、医療連携室などを通じMSW(医療相談員)が相談に応じます。皆さんの置かれている状況を判断し、適切な情報を提供し、医療を受けやすい環境の整備や提案を行いますので、相談支援は社会福祉課にお気軽にご相談ください。また、在宅医療などについてのご相談や、医療費の支払いについてお困りの場合には、無料低額診療事業のご案内をいたします。

#### 緩和ケアの提供体制について

主治医のみならず、医療従事者全員が皆さんの置かれている状況を常に見ております。患者とその家族が抱える苦痛を適切に汲み上げ、がん性疼痛をはじめとする様々な苦痛のスクリーニングを診断時から行うなど、緩和ケアを組み入れた診療体制を行っています。